

ふくしま環境・エネルギーフェア 2008

同時開催 **ふくしま省エネ住宅リフォームフェア**
主催 特定非営利活動法人超学際的研究機構(福島県地球温暖化防止活動推進センター)、福島県エコ住宅普及促進協議会

開催結果報告書



ふくしま環境・エネルギーフェア2008

主催:福島県、地球にやさしい“ふくしま”県民会議

同時開催 **ふくしま省エネ住宅リフォームフェア**
主催 特定非営利活動法人超学際的研究機構(福島県地球温暖化防止活動推進センター)、福島県エコ住宅普及促進協議会



未来の子どもたちのために、
美しい郷土「ふくしま」を
守りつづける。
だから、今はじめる。

会場 **ビッグパレットふくしま** 2008年12月20日(土)10時～17時
2008年12月21日(日)10時～16時



主催:福島県、地球にやさしい“ふくしま”県民会議

CONTENTS

開催概要	01
開催実績	02
会場案内図(展示)	04
イベント／ プレゼンテーションスケジュール	06
会場全体レイアウト／ BDFシャトルバス運行	07
出展企業・団体一覧	08
開催内容	
●イベント・セミナー	20
●体験コーナー	23
●ステージイベント	24
来場者アンケート	26
出展者アンケート	30
制作物	34
来場促進・広告宣伝活動	36

ごあいさつ

福島県と地球にやさしい“ふくしま”県民会議は、12月の地球温暖化防止月間に併せ、「ふくしま環境・エネルギーフェア2008」を福島県郡山市で開催しました。

2008年は、地球温暖化防止の京都議定書の約束期間がスタートした年であり、本県においても地球温暖化の防止に向けた取組を加速させていかなければならないことから、更なる地球温暖化対策の推進と環境・エネルギー産業の振興を目指し、県内で初めて、環境・エネルギーに関する総合イベントを開催したものです。

本フェアにおきましては、子どもからお年寄りまであらゆる方々を対象に、地球温暖化をはじめとする環境問題に対する意識を高めてもらい、省資源・省エネルギーなど一人ひとりの取組を促進すると同時に、環境・エネルギー産業関連企業を対象に、環境・エネルギー分野での製品・技術やサービスに関する企業間のマッチング機会の創出、新規販路の開拓によるビジネスチャンスの拡大等を図ることを目的としました。

本フェアの来場者数は、延べ20,551人と当初目標としておりました2万人を上回り、東北最大級の環境・エネルギーイベントとして盛大に開催することができました。

このように開催することができましたのも、多くの環境・エネルギー関連企業・団体の皆様が本フェアに出展くださり、それぞれのブースにおいて、最新の省エネルギー・新エネルギーに関する製品や技術、各社・団体等の取組内容など来場者の興味を引く展示をしてくださったことや、関係者の皆様の御協力により充実した多様なイベントが展開できたことによるものであり、今回の開催を通じ、来場者に対して、地球温暖化の防止と環境・エネルギー産業の振興についての理解を深めることができたと考えております。

本フェアは今後も、お寄せいただいたアンケート結果などの御意見を参考にさせていただきながら、地球温暖化対策の推進と環境・エネルギー産業の振興を目指した総合イベントとして、更に充実させて開催してまいりたいと考えております。

最後に、産学民官の多様な主体による参加と連携の下、「ふくしま環境・エネルギーフェア2008」が実りあるフェアとして盛況のうちに終了できましたことにつきまして、御支援・御協力をいただいた出展者の皆様と関係機関各位に重ねて厚く御礼申し上げます。

福島県
地球にやさしい“ふくしま”県民会議

開催概要

名称

ふくしま環境・エネルギーフェア2008

会期・会場

会期／2008年12月20日(土)10時～17時
12月21日(日)10時～16時

会場／ビッグパレットふくしま〈福島県郡山市日出山字北千保19-8〉

主催

福島県、地球にやさしい“ふくしま”県民会議

入場料

無料

地球にやさしい“ふくしま”県民会議

福島県青少年団体連絡協議会、(社)日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会、福島県女性団体連絡協議会、ふくしま女性フォーラム、(財)福島県老人クラブ連合会、(社福)福島県社会福祉協議会、日本労働組合総連合会福島県連合会、ライオンズクラブ332D地区、国際ロータリー2530地区、福島県私学団体総連合会、福島県消費者団体連絡協議会、福島県生活研究グループ連絡協議会、福島県生活学校連絡協議会、福島県クワふるふくしま運動推進協議会、環境保全ネットワークふくしま福島県自然保護協会、会津生物同好会、日本野鳥の会福島県内支部連合会、福島県山岳連盟、もったいないネットワーク福島、東北電力(株)、東京電力(株)、福島県都市ガス協会、(社)福島県エルピーガス協会、福島県石油商業組合、(社)福島県銀行協会、福島県信用金庫協会、福島県信用組合協会、福島県生活協同組合連合会、福島県生活衛生同業組合連合会、(財)福島県観光物産交流協会、福島県電機商工組合、郵便局株式会社東北支社、株式会社ゆうちょ銀行(福島県内)、福島県経営者協会連合会、福島県商工会議所連合会福島県商工会連合会、福島県中小企業団体中央会、福島県農業協同組合中央会、福島県漁業協同組合連合会、福島県内水面漁業協同組合連合会、福島県森林組合連合会、福島県土地改良事業団体連合会、(社)福島県建設産業団体連合会、日本チェーンストア協会東北支部(社)福島県トラック協会、(社)福島県バス協会、(社)福島県タクシー協会、福島県自動車販売店協会、(社)福島県産業廃棄物協会、福島県再生資源商工組合、(社)福島県浄化槽協会、福島県適正処理困難指定廃棄物対策協議会、有限責任法人福島県フロン回収事業協会、(株)福島民報社、福島民友新聞(株)、福島テレビ(株)、(株)福島中央テレビ、(株)福島放送、(株)テレビユー福島、日本放送協会福島放送局、(株)ラジオ福島、(株)エフエム福島、元アジェンダ21ふくしま策定懇談会長 白岩 康夫、国立大学法人福島大学 鈴木 浩、国立大学法人福島大学 渡邊 明、いわき明星大学 東 之弘、公立大学法人会津大学 寺坂 晴夫、日本大学 長林 久夫、福島県、福島県教育委員会、福島県市長会、福島県町村会、福島県公民館連絡協議会、福島地方気象台、環境省東北地方環境事務所、東北経済産業局、国土交通省福島運輸支局、福島県地球温暖化防止活動推進センター、(財)省エネルギーセンター東北支部、県北地方県民会議、県中地方県民会議、県南地方県民会議、会津地方県民会議、南会津地方県民会議、相双地方県民会議、いわき地方県民会議

来場者数

日程	天候	来場者数
12月20日(土)	晴	7,640名
12月21日(日)	晴	12,911名
合計		20,551名

展示規模

分類	出展者数	小間数
新エネ・省エネゾーン	27	48
ふくしま省エネ住宅リフォームフェアゾーン	20	30
ふくしま環境・エネルギー産業ネットワーク会議ゾーン	7	11
エコリサイクル製品・建設新技術新工法ゾーン	11	11
環境土木・環境建築ゾーン	3	4
廃棄物処理・リサイクルゾーン	15	20
環境バイオ・環境農業ゾーン	4	5
環境対策・環境啓発ゾーン(企業)	16	26
環境対策・環境啓発ゾーン(研究機関)	4	4
環境対策・環境啓発ゾーン(NPO)	8	11
環境対策・環境啓発ゾーン(各種団体)	13	18
環境対策・環境啓発ゾーン(行政機関)	9	11
屋外・特設ゾーン	3	13
合計	140	212



多目的展示ホールの様子



コンベンションホールの様子

開会式

日時:平成20年12月20日(土)9:50~10:00

場所:ビッグパレットふくしま多目的展示ホール・ホワイト

式次第:

◎主催者挨拶

福島県知事 佐藤 雄平

◎来賓挨拶

福島県議会議長 遠藤 忠一

◎テープカット

福島県知事 佐藤 雄平

地球にやさしい“ふくしま”県民会議代表
福島大学教授 渡邊 明

4R運動推進セミナー主催 福島県商工会連合会
会長 田子 正太郎

福島県議会議長 遠藤 忠一

「もったいない50の実践」絵画コンクール受賞者代表
白河市立みさか小学校2年 齋藤 紹熙

「ふくしま環境・エネルギーフェア 2008」
PRモデル 遠藤 優里華

(敬称略)



福島県知事
佐藤 雄平

福島県議会議長
遠藤 忠一



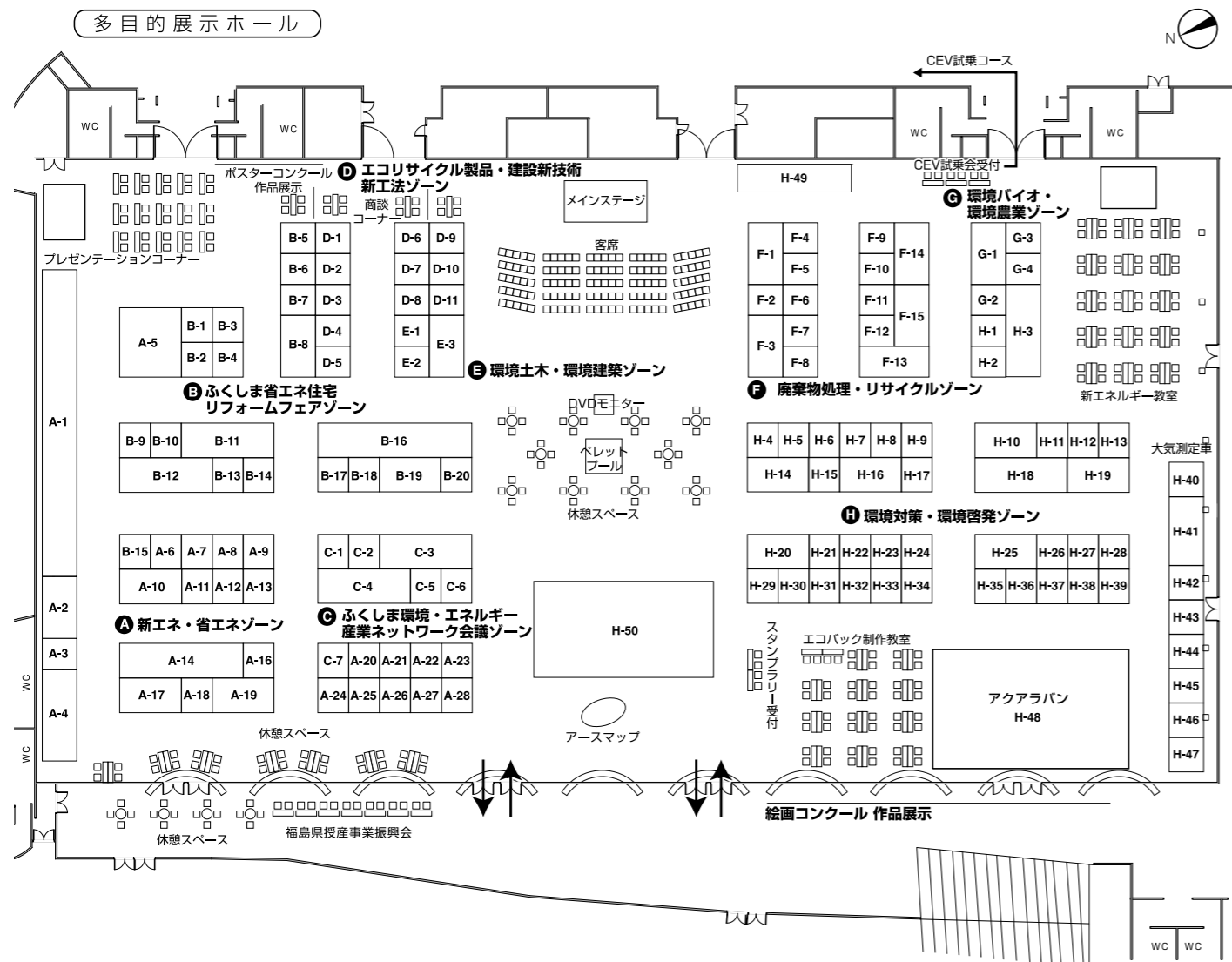
テープカット

会場内の様子

多目的展示ホールでは、県内外から140企業・団体が出展し、新エネルギー、省エネルギー、廃棄物の減量化・リサイクルなど環境・エネルギー関連分野の新商品、最新技術、サービスや、具体的な温暖化対策の取組内容等が紹介されました。また、プレゼンテーションコーナーでは、出展企業・団体による様々な取組の発表など、情報交換や商談等の交流が活発に行われました。

一方、コンベンションホールと中会議室では、片山右京氏講演会、さかなクンライブトークをはじめ、各種シンポジウム、セミナー、表彰式、映画の上映等、普及啓発だけでなくビジネスにも役立つセミナーを多数開催しました。

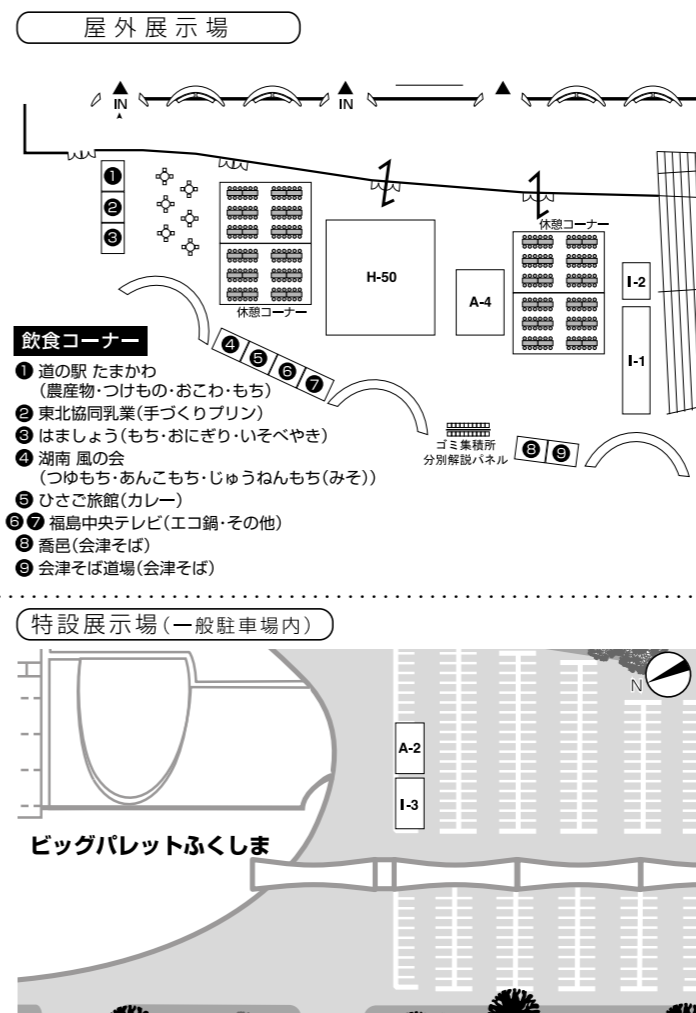




- A 新エネ・省エネゾーン**
- A-1 東北電力 福島支店
 - A-2 天然ガス導入促進センター
 - A-3 福島県都市ガス協会
 - A-4 福島県エルピーガス協会
 - A-5 東京電力 福島事務所
 - A-6 京セラソーラーFC福島/オールヒーティング
 - A-7 小林
 - A-8 日本エコシステム
 - A-9 関影商事
 - A-10 石油連盟東北石油システムセンター
 - A-11 東北ガラス
 - A-12 会津雪国科学
 - A-13 クリーンコールパワー研究所
 - A-14 ジェルシステム
 - A-15 ムネカタ
 - A-16 エコ東日本
 - A-17 福島エコロジカル
 - A-18 エイブル
 - A-19 関東三洋セミコンダクターズ
 - A-20 前川製作所東北支店
 - A-21 古河電池
 - A-22 ユーラスエナジー滝根小白井
 - A-23 トータルシステム
 - A-24 興和東北支店
 - A-25 富士電機システムズ
 - A-26 グリーンパワー 郡山布引
 - A-27 福島キャノン

- B ふくしま省エネ住宅リフォームフェアゾーン**
- B-1 超学際研究機構
 - B-2 タイキン空調東北
 - B-3 郡山市
 - B-4 常磐硝材
 - B-5 福島県林業振興課
 - B-6 福島県木材青年協会
 - B-7 福島県耐震化・リフォーム等推進協議会
 - B-8 ソーラーポスト
 - B-9 福島中央テレビ
 - B-10 ふくしま建築住宅センター
 - B-11 地球と家族を考える会
 - B-12 アメテック東日本設備
 - B-13 はしもと住宅店
 - B-14 ふくしま家づくりネットワーク
 - B-15 関東ゆふイーター
 - B-16 ビオール
 - B-17 コムテックス
 - B-18 黒澤工務店
 - B-19 薩山工務店
 - B-20 サンボット

- C ふくしま環境・エネルギー産業ネットワーク会議ゾーン**
- C-1 トラスト企画
 - C-2 会津大学
 - C-3 いわき明星大学
 - C-4 福島大学地域創造支援センター
 - C-5 フミン
 - C-6 常磐エンジニアリング
 - C-7 日本大学工学部情報工学科



- D エコリサイクル製品・建設新技術新工法ゾーン**
- D-1 双葉物産
 - D-2 吉田工業
 - D-3 シンワ
 - D-4 東亜道路工業
 - D-5 PAN WALL工法協会
 - D-6 東電環境エンジニアリング
 - D-7 浜尾豊商店
 - D-8 福島県環境共生課/福島県技術管理課
 - D-9 東開クレテック
 - D-10 丸栄コンクリート工業
 - D-11 テクノクリート
- E 環境土木・環境建築ゾーン**
- E-1 ノンフレーム工法研究会
 - E-2 クリスタルコンクリート協会福島支部
 - E-3 荻原工業

- F 廃棄物処理・リサイクルゾーン**
- F-1 福島県浄化槽協会
 - F-2 福島県産業廃棄物協会青年部会
 - F-3 福島県産業廃棄物協会
 - F-4 相馬環境サービス
 - F-5 タカヤマエコジョイン富岡
 - F-6 アイアンドエヌ
 - F-7 恵和興業
 - F-8 コラボ・ウェイト
 - F-9 福良梱包
 - F-10 中上一商店
 - F-11 マテリアルリソーシング東北
 - F-12 クレハいわき事業所
 - F-13 協和エムザー
 - F-14 クレハ環境
 - F-15 釜屋

- G 環境バイオ・環境農業ゾーン**
- G-1 ヤンマーエネルギーシステム
 - G-2 塩田建設工業
 - G-3 バイオ技研
 - G-4 バイオ機工
- H 環境対策・環境啓発ゾーン**
- 企業**
- H-1 ジーエス・ユアサバッテリー
 - H-2 アサヒビール福島工場
 - H-4 荒川産業
 - H-5 日本地下水開発福島営業所
 - H-6 江東微生物研究所
 - H-7 コーワ建設工業
 - H-8 富士通アイソテック
 - H-9 エフアイティブロンティア
 - H-10 北芝電機
 - H-11 アサカ理研
 - H-12 福島県フロン回収事業協会
 - H-20 いわき大王製紙
 - H-23 有紀
 - H-28 富士冷熱機器
 - H-29 日産自動車いわき工場
 - H-50 福島県自動車販売店協会
- 研究機関**
- H-30 福島県農業総合センター
 - H-31 福島県林業研究センター
 - H-32 福島県ハイテクプラザ
 - H-33 会津工業高等学校
- NPO**
- H-14 IIYO
 - H-16 ザ・ビーブル
 - H-21 環境保全会議あいづ
 - H-22 陽だまりハウス
 - H-24 桐の応援団
 - H-25 福島県緑の協力隊
 - H-27 いわき環境研究室
 - H-35 フー太郎の森基金
- 各種団体**
- H-3 福島環境カウンセラー協会
 - H-13 猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
 - H-15 郡山開成学園
 - H-17 福島県商工会連合会
 - H-18 東北バイオマス発見活用協議会
 - H-19 2009年FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会組織委員会
 - H-26 地球にやさしい「ふくしま」県民会議津地方会議
 - H-34 福島県農地・水・環境保全向上対策地域協議会
 - H-36 はげっ子倶楽部
 - H-37 にんじん舎の会
 - H-38 東北地域エネルギー・温暖化対策推進会議
 - H-39 福島県消費者団体連絡協議会
 - H-48 ふくしま海洋科学館
- 行政機関**
- H-40 福島県水・大気環境課
 - H-41 会津若松市
 - H-42 福島地方気象台
 - H-43 福島県自然保護課
 - H-44 福島県森林計画課
 - H-45 福島県エネルギー課
 - H-46 福島県環境センター
 - H-47 福島県環境共生課
 - H-49 福島県一般廃棄物課
- I 屋外・特設ゾーン**
- I-1 トーカン
 - I-2 遠野興産
 - I-3 日本たばこ産業宇都宮支店(一般駐車場内)

イベントスケジュール

20日 スケジュール

時間	コンベンションホールA	コンベンションホールB	中会議室A	中会議室B
10:00				
11:00				
12:00				
13:00	12:20~13:30 片山右京氏講演会	10:30~13:30 地球にやさしい“ふくしま”高校生CMコンテスト	13:00~14:00 環境・エネルギービジネスセミナー	13:00~17:00
14:00		13:30~14:45 高校生インターナショナル・トークセッション		
15:00	14:00~16:00 地球温暖化シンポジウム			東北バイオマス研修会in福島 (主催:東北バイオマス発見活用協議会)
16:00		15:00~16:40 映画「不都合な真実」上映会		
17:00				

21日 スケジュール

時間	コンベンションホールA	コンベンションホールB	中会議室A	中会議室B
10:00				
10:00~10:30	第33回 福島県児童・生徒木工工作コンクール表彰式	10:00~10:45 “うつくしま、ふくしま。”環境顕彰表彰式 【第11回全国環境学習フェア】 テーマ・ポスター表彰式	10:00~16:00 県内小中学生による環境エネルギー教育ポスターセッション (主催:いわき明星大学)	10:00~12:15 地球にやさしい“ふくしま”県民会議交流会
11:00				
12:00	11:15~12:15 さかなクン ライブトーク			
13:00				
14:00	13:00~16:00 新エネルギーシンポジウム	13:00~15:00 映画「KIZUKI」上映会		
15:00				
16:00				

プレゼンテーションスケジュール

多目的展示ホール内プレゼンテーションコーナー

20日

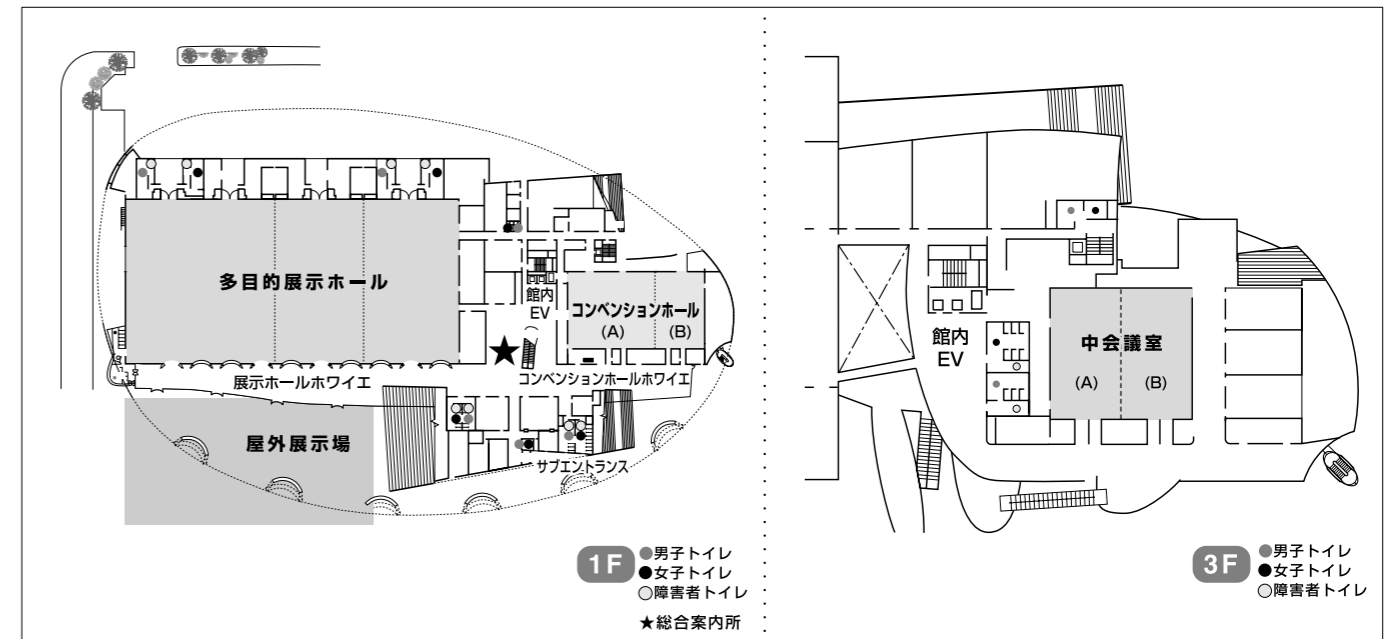
10:15	ピオール	14:15	地球と家族を考える会
10:30	PAN WALL工法協会	14:30	エイブル
10:45	東亜道路工業	14:45	フミン
11:00	シンワ	15:00	古河電池
11:15	東北バイオマス発見活用協議会	15:15	ジェルシステム
11:30	コーワ建設工業	15:30	福島県緑の協力隊
13:00	恵和興業	15:45	日本大学工学部情報工学科
13:15	クリスタルコンクリート協会	16:00	塩田建設工業
13:30	福島県消費者団体連絡協議会	16:15	福島県フロン回収事業協会
13:45	福島県林業振興課	16:30	フー太郎の森基金
14:00	アールヒーティング		

21日

10:00	福良梱包
10:15	アイアンドエヌ
10:30	2009年FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会組織委員会
13:00	日本大学工学部情報工学科
13:15	はげっ子倶楽部
13:30	荒川産業
13:45	タカヤマ

会場全体レイアウト

ビッグパレットふくしま平面図



BDFシャトルバス運行

バス時刻表

ふくしま環境・エネルギーフェア専用バイオディーゼルのシャトルバス

郡山駅 観光・送迎バス乗降所発着

料金：無料 ※酒員の場合は路線バスをご利用ください。

★は、20日(土)のみ運行となります。

郡山駅 → ビッグパレットふくしま	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00*
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30*

ビッグパレットふくしま → 郡山駅	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
30	00	00	00	00	00	00	00	00	00*
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30*

路線バス

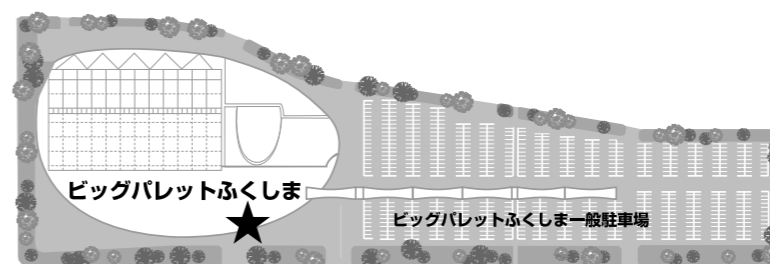
JR郡山駅西口「1番乗り場」から乗車、バス停「ビッグパレット」下車

片道運賃：290円 ※(栄町)柴宮団地行き以外にご乗車下さい。それ以外は全てビッグパレットを経由いたします。

郡山駅 → ビッグパレットふくしま	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
10	00	10	55	55	00	25	10	15	
55	30	55			10	30	55	55	

ビッグパレットふくしま → 郡山駅	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
06	25	00	01		27	00		27	
18	27		27			15			

シャトルバス・路線バス・タクシー 乗降場所



新エネ・省エネゾーン

企業名	所在地・担当部署・電話	展示内容	展示会場
有限会社 会津雪国科学	〒969-3512 福島県喜多方市堀川町東栄町1丁目7-21 TEL.024-127-5123 FAX.024-127-3822 http://www.ysw.jp	雪国科学グループが提案する、省エネで高断熱を確保することができる「AIRIN=赤外線反射断熱材」を出展し、より多くの人々に「AIRIN=赤外線反射断熱材」の本当の良さを知っていただき、住宅や事務所、店舗、各公共施設などへ取り入れられることにより、エネルギー消費を大いに削減し、地球温暖化の防止に役立つ事を目的にしております。	A 12
株式会社イェブル	〒963-0205 郡山市堀1-127 福島県環境事業部 TEL.024-951-8248 FAX.024-952-8380 http://www.able-web.jp	《超高性能蛍光灯反射板》電気代の削減=CO ₂ の削減です。住友3M社の「蛍光灯反射板」とダミー蛍光灯を店舗、オフィス、工場、学校等の照明器具に取り付けるだけで、電気料金を確実に削減する事が出来ます。(実物展示有) 《遮熱・高断熱塗料》NASA開発のセラミックを配合した塗料で、屋根、外壁、熱交換器、タンク等に塗装することで、侵入熱を大幅にカット出来ます。省エネ効果が大きく冷暖房費の大幅削減が出来ます。(遮熱実験有)	A 19
株式会社エコ東日本	〒963-7836 福島県石川郡石川町塩沢広畑44-1 TEL.0247-56-1455 FAX.0247-56-1458 http://www15.ocn.ne.jp/~eco-east/	<コスト削減&CO ₂ 削減への貢献> 初期投資ゼロ3点セット+断熱 1) 電気代の削減:照明器具を換えずに、蛍光灯最大40%-水銀灯最大50% 2) 上下水道代の削減:トータル節水システム 50%節水でも節水感なし 3) 重油代の削減:重油+水20%でエマルジョン化→重油15%削減+NOX等の有害ガス30%以上削減 4) 屋根・外壁・窓断熱:熱交換塗料・ガイナ・窓断熱塗料	A 17
関東三洋 セミコンダクターズ 株式会社	〒966-0921 福島県喜多方市慶徳町松舞家西蓮寺1779-4 管理課商品企画係 TEL.0241-24-3434 FAX.0241-24-3450 http://www.semiconductor-sanyo.jp/amorton/index.asp	三洋アモルファスシリコン太陽電池「アモルトン」は三洋電機が世界に先駆けて1982年より量産開始した太陽電池です。「アモルトン」は結晶シリコン太陽電池と比較して、多くの優れた特長を持ち、製造エネルギーが少なく原材料使用量も少ないなど、地球にやさしい製品です。「アモルトン」は顧客が求める形状・特性に合わせた設計が可能で、多くの用途に実績があります。主に民生用途として、電卓、ソーラー腕時計、バッテリーチャージャーに搭載いただいております。是非一度ご覧ください。	A 20
京セラソーラー FC福島/ 有限会社 アールヒーティング	〒960-0101 福島県福島市瀬上町字本町65 ソーラー事業本部 TEL.0120-820239 FAX.024-552-2034 http://www.solar-fc.com/	太陽電池モジュールの実物、事例等を展示致します。当社は、東北初・県内唯一の京セラソーラー発電システムのフランチャイズ店として、現在までに300棟を超える太陽光発電及び電化システムの販売 施工を行っております。また、メーカー指定のアフターメンテナンス店としても多くの実績を重ねて参りました。高効率のオール電化機器による「省エネルギー」と併せて、太陽光発電による「創エネルギー」をご提案し、地域住民の皆様のエコロジーで豊かな暮らしをサポート致します。	A 6
株式会社 クリーンコール パワー研究所	〒974-8222 福島県いわき市岩間町川田102-3 TEL.0246-77-3181 FAX.0246-77-3199	石炭ガス化複合発電(IGCC)の仕組みの平易な紹介と、実証試験の試験状況、ならびに商用化した場合のメリットなどをパネル等で展示します。	A 13
株式会社 グリーンパワー 郡山布引	〒963-1631 福島県郡山市湖南町赤津字赤津道467番2 TEL.024-982-2705 FAX.024-982-2706	郡山布引風力発電所は、猪苗代湖の南に広がる標高1,000mを超える布引高原に位置する国内最大規模のウィンドファーム(出力65,980kW)です。2,000kW級の大型風車を採用し、当高原の風エネルギーを可能な限り利用することに努めました。布引高原は、高原の気候を生かした農作物の栽培が盛んであり、発電機の建設・運営において、農業との共生を図っております。さらに、行政や学校における環境教育の題材としても活用されており、新エネルギーに関する情報発信や意識の向上に貢献しております。	A 27
株式会社興和 東北支店	〒982-0032 宮城県仙台市太白区富沢4丁目4番2号 営業部 TEL.022-743-1680 FAX.022-743-1686 http://www.kowa-net.co.jp/	(株)興和は、消融雪システムの施工・開発をはじめ、地下水調査や温泉開発に取り組んでいます。環境保全をテーマに、自然エネルギーや廃熱を活用し、限りある資源・エネルギーを効率よく使う消融雪システムを提供しています。ヒートパイプ融雪システムは、温度差を動力として熱を運びヒートパイプにより、地熱、温泉熱、排水熱を舗装へ伝えて融雪をします。融雪のエネルギーや動力エネルギーに、電気、ガス、油を使わないエコ融雪システムです。	A 25
株式会社小林	〒960-1454 福島県伊達郡川俣町字八反田24番地 ホームライフ事業部 TEL.024-565-3341 FAX.024-565-3343 http://kitty.ch/coba/	「家庭用燃料電池」と「太陽光発電システム」を組み合わせた「W発電システム」の実証データーを紹介!! 環境負荷の少ない次世代エネルギーシステムとして注目されている燃料電池と、自然エネルギーを利用する太陽光発電の組み合わせによる「W発電システム」は、現在、全国約3300カ所の燃料電池定置用実証試験の中でも、珍しい形態の実証試験です。この機会に約1年半のデーターを紹介します。また、太陽光発電システムや省エネルギー設備などを紹介します。	A 7
株式会社 ジェルシステム	〒156-0043 東京都世田谷区松原2-42-7 TEL.03-3321-7811 FAX.03-3321-7911 http://www.jelsystem.co.jp	エコロジーから、エコラテジーへ。 企業にとってのエコロジー対策とは、CSR活動の一環や企業イメージの向上の手段ではなく、企業経営を支える重要な事業戦略に位置づけられています。わたしたちは、環境ストラテジーのエキスパートとして、省エネルギー化によるコスト低減をはじめ、多くのビジネスメリットを創出する環境マネジメントをご提案。現状の分析・評価から、機器の導入、アフターフォローまで、きめ細やかなコンサルティング業務を通して、お客様のニーズに合った環境システム構築をお手伝いします。	A 14
関彰商事株式会社	〒970-8026 福島県いわき市平字正内町61 東北支店 ビジネスエネルギーグループ TEL.0246-22-2266 FAX.0246-25-3168 http://www.sekisho.co.jp/	来年から発売される「家庭用燃料電池・エネファーム」。アポロ宇宙船に搭載したハイテクを商品化した環境対策「省エネ型機器「家庭用燃料電池・エネファーム」を紹介。「エネファームが家庭に設置されるとどうなるのか?」を模型のボタンを押して聞いてみましょう。エネファームの環境性・省エネ設計もわかりやすくパネルにまとめました。	A 9

企業名	所在地・担当部署・電話	展示内容	展示会場
石油連盟 東北石油システム センター	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2-3-10 仙台本町ビル12F TEL.022-724-3911 TEL.022-724-3912 http://sys.paj.gr.jp/tohoku/index.html http://www.ecofeel.jp/	石油連盟東北石油システムセンターは、石油高効率給湯器「エコフィール」、石油温水暖房システム「ホット住まい」、その他石油機器の普及・広報活動を行っております。 展示しているのは、今年から国の導入補助制度がスタートした高効率給湯器「エコフィール」です。熱効率が大幅UP(83%→95%)し、排気温度が低下(約200℃→約60℃)、49dBの低騒音を達成した給湯器で、工事代金を含め最大23,000円の国補助が出ます。	A 10
財団法人 天然ガス導入 促進センター	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-12 日本ガス協会ビル 3階 総務部業務課 TEL.03-3500-1612 FAX.03-3500-1613 http://www.cpngr.or.jp	環境にやさしいクリーンエネルギー天然ガスに関するさまざまな情報を、展示パネルや楽しいアニメクイズを通してわかりやすく紹介します。それと親子で楽しむ無料のペーパークラフトコーナーもあるから、みんな遊びに来てください。	A 2
東京電力株式会社	〒960-8041 福島県福島市大町5-6 日生福島ビル 福島事務所 広報情報グループ TEL.024-521-0791 FAX.024-522-0536 http://www.tepco.co.jp	電力業界が進めるCO ₂ 排出抑制対策は、「供給側におけるエネルギーの低炭素化」と「需要側におけるエネルギー利用の効率化」の2つに分けられます。同じ電気を使っても、つくり方によってCO ₂ の排出量は異なります。東京電力では、電力供給事業者として、バランスのよい電源利用、火力発電の熱効率向上など、CO ₂ の少ない電気づくりを進めています。それらの取り組みについて具体的にご紹介します。	A 5
東北ガラス	〒960-0102 福島県福島市鎌田字下田14-1 TEL.024-553-7311 FAX.024-553-7391 http://www.kizu110.jp/	窓ガラスに断熱フィルムを貼り、冷気や熱さをカットして冬は暖かく夏は涼しくします。冷暖房の効果が30%以上良くなりますので、無駄な電気代や灯油代の節約につながりECOとなります。また結露やインテリアの白焼け対策になり、窓ガラスが割れても飛散しないので地震や防犯対策にも有効です。住宅やオフィスなど具体例を写真などで展示します。	A 11
東北電力株式会社	〒960-8524 福島県 福島市栄町7番21号 福島支店企画管理部(企画・総務) TEL.024-522-9151 FAX.024-521-4203	私ども電力業界では、低炭素社会実現に向けて、需要側のエネルギー消費の効率化および供給側のエネルギーの低炭素化という供給両面での取り組みを推進しています。東北電力からは、需要面での取り組みである高効率電気機器の普及による電化の推進を出展のテーマとして、従来型電気温水器と比べてCO ₂ の大幅な削減ができ、需要面での取り組みの中心的な役割を担うエコキュート(CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器)についてその仕組みをご紹介します。実際の機器の展示や実演を行います。	A 1
有限会社 トータル・システム	〒999-3272 山形県東根市大字野川2514-1 TEL.023-744-3481 FAX.023-744-3482 http://totalsystem.orz.hm	使用済み天ぷら油が燃料に代わる!! そのままディーゼル燃料やボイラー燃料に 植物性廃食油燃料化精製装置 ECO-100 山形大学工学部との共同研究開発により生まれた、小型・軽量・省エネ低価格な新製品!	A 24
株式会社 日本エコシステム	〒963-0107 福島県郡山市安積2-215 営業課 TEL.024-937-0611 FAX.024-937-0613 http://www.shouene.com/	日本エコシステムでは、太陽光発電システムとして「シャープ」「三菱電機」「三洋電機」「京セラ」製品を取り扱っております。IHクッキングヒーターとして「パナソニック電工」「シャープ」「日立アプライアンス」製品を取り扱っております。エコキュートとして「ダイキン工業」「三菱電機」「日立アプライアンス」「パナソニック電工」「コロナ」製品を取り扱っております。	A 8
株式会社 福島エコロジカル	〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字前田81 TEL.024-954-5831 FAX.024-954-5833 http://miimo.xii.jp	・無電動自動ドアの展示 ① 通行者の体荷重を利用し、通行者が踏板上に乗ることで自動ドアが開き、踏板を降りるとドアが閉じる。 ② ドア開閉駆動部をドアフレーム内に収納することができるほどコンパクト化することが成功し、既存の自動ドアからの置き換えが十分可能となった。弊社が開発したドア開閉駆動部を使って(株)有紀が製品化した「オートドアゼロ」「Auto Door Zero」を展示する。	A 18
福島キヤノン 株式会社	〒960-2193 福島県福島市佐倉字二本榎2番地 総務部 安全・環境課 TEL.024-593-2111 FAX.024-593-1189 http://www.fukushima-canon.co.jp/	福島キヤノンは、1970年に操業開始し、1978年キヤノン株式会社へ合併、2003年4月「キヤノン株式会社」より分社独立し「福島キヤノン株式会社」となり、地元根ざした企業を目指し、地域と共に発展のため活動を行なっています。 ① 省エネの取組み(主な取り組み事例の紹介) ② 排出物のリサイクルの取組み ③ 環境社会貢献活動の取組み	A 28
社団法人 福島県 エルピーガス協会	〒960-1195 福島県福島市上鳥渡字蛭川22-2 TEL.024-593-2161 FAX.024-593-4240 http://www.fukushimalpg.or.jp	CO ₂ の排出量が少なく、地球温暖化防止に寄与する地球環境にやさしいグリーンなエネルギーであるLPガス!お掃除が簡単で安全な「Siセンサー付ガラストップコンロ」、給湯、お風呂、暖房に使える一台三役の「エコジョーズ」や自宅で電気が作れる夢のような「燃料電池」など省エネ・新エネルギー機器の展示を行います。また、NOx、SPMの排出量が少なく、CO ₂ 削減効果が高い、環境性能に優れた実用的なLPガス自動車の展示を行います。	A 4
福島県都市ガス協会	〒963-8001 福島県郡山市大町2丁目17番4号 東部ガス株式会社 福島支社 営業開発グループ エネルギー営業チーム TEL.024-932-3333 FAX.024-939-0848 http://www.tobugas.co.jp	福島県都市ガス協会では、クリーンエネルギー天然ガスを使って自宅で発電し、同時にお湯も作れるマイホーム発電「エコワイル」と温水暖房を紹介します。エコワイルは自宅で都市ガスを利用して発電し、そのとき出る熱でお湯も沸かして、床暖房・温水ルームヒーターなどの暖房もできる環境にやさしい家庭用ガスコージェネレーションシステムです。自宅で発電するので、発電時の排熱を有効利用でき、送電ロスもないのでCO ₂ を削減できます。是非、この機会に先進ガス機器に触れてみてください。	A 3
富士電機システムズ 株式会社	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1丁目3番1号 日本生命仙台ビル 東日本支社 総務グループ TEL.022-225-5352 FAX.022-266-6646 http://www.fesys.co.jp/	富士電機システムズは、優れたパワーエレクトロニクス技術をベースとしたドライブ事業と業界屈指のセンサー技術とソリューションを組み合わせたオートメーション事業を牽引事業として、お客様の環境と安全を実現する製品・サービスを創造し、お客様に選ばれる企業を目指してまいります。今回展示する商品はフレキシブルアモルファス太陽電池、りん酸型燃料電池、マイクロ水力発電システム、風力発電システムといずれも環境に優しい、当社が自信をもってお客様に提案する次世代の新エネ製品です。	A 26
古河電池株式会社	〒972-8312 福島県いわき市常磐下船尾町杭出作23-6 いわき事業所 TEL.0246-43-0080 FAX.0246-43-5643 http://www.furukawadenchi.co.jp/	① ウルトラバッテリー 鉛蓄電池の負極にキャパシタ電極を電極レベルでハイブリッド化した新発想の電源です。パルスパワーとエネルギーを両立し、鉛蓄電池の弱点であったアイドルストップ、ブレーキ回生などPSOC(部分充電)用途での短寿命を大きく改善し、低燃費次世代車用電源に最適です。 ② 市販用自動車用バッテリー FB9000シリーズ(フラッグシップモデル)、FB(古河バッテリー)のフラッグシップバッテリーFB9000シリーズは、弊社の技術を結集し、安心設計、高容量化、利便性の向上、及び新開発の二重蓋構造(ダブルリッド)の採用により、減液を大幅に抑制し無補水補償(*)を実現した新商品です。*補償期間のみ	A 22

企業名	所在地・担当部署・電話	展示内容	展示会場
株式会社前川製作所東北支店	〒983-0012 宮城県仙台市宮城野区出花2-5-12 営業部 ヒートポンプ関連事業開発室 TEL.022-259-5060 FAX.022-259-5223 http://www.mayekawa.co.jp	・ 自然エネルギー及び未利用エネルギーを熱源とした融雪用ヒートポンプシステムの納入事例をパネル紹介。 ・ 地球環境保護に優れた自然冷媒CO ₂ を用いた空気熱源業務用エコキュートおよび水熱源業務用エコキュートをパネル紹介。	A 21
ムネカタ株式会社	〒960-8506 福島県福島市蓬萊町1丁目11番1号 インダストリー ビジネスユニット TEL.024-547-2628 FAX.024-548-6821 http://www.munekata.co.jp/industry	プラスチック溶着はインパルスウエルダーにお任せください!インパルスウエルダーは瞬間加熱・瞬間冷却方式で安全性はもとより品質、安定性に優れた省エネルギータイプの溶着機です。地球環境保全についても、リサイクル容易で、地球にやさしい溶着機ともいえます。新発売:「MIW50」急速加熱に対応できる温度制御付インパルスウエルダー	A 16
株式会社ユーラスエナジー滝根小白井	〒963-3602 福島県田村市滝根町神侯字中広土178-1 TEL.0247-78-3232 FAX.0247-78-3233 http://www.eurus-energy.com/	福島県田村市及びいわき市において開発中の滝根小白井風力発電事業(2,000kW風車を23基建設予定)についてご紹介いたします。また、風力発電を中心に世界各国でクリーンエネルギーによる発電事業を展開しているユーラスエナジーグループの取り組みについてパネル等で展示します。	A 23

ふくしま省エネ住宅リフォームフェアゾーン

株式会社アメテック東日本設備	〒962-0015 福島県須賀川市日向町209-1 総務課 TEL.0248-72-6602 FAX.0248-72-6603 http://www.ametech.jp/	未来の子どもたちへ自然豊かな環境を引継ぐために、地球環境のこと少し考えてみませんか?太陽の光で電気を作る太陽発電システム。CO ₂ を出さない給湯器エコキュート。お子様にも安心・安全なIHクッキングヒーター。全てを実物展示しておりますので、ご家族皆様でぜひご体験下さい。	B 12
株式会社陸山工務店	〒963-0725 福島県郡山市田村町金屋字上川原286番地の12 営業課 TEL.024-944-3622 FAX.024-942-0088 http://www.kageyama-koumuten.com	当社では住宅から排出されるCO ₂ の削減及び、ご家庭での冷暖房費の節約を推進するために、住宅の断熱リフォームをお薦めいたします。昨今の原油価格の上昇により灯油をはじめ電気料金の値上げ等が家計の負担となっております。また断熱が不十分な住宅は、内部の温度差によるヒートショックや結露など健康にも影響を及ぼす原因となっております。そこで当社では「住みながらできる断熱リフォーム」を住宅の壁の模型を使い、実演しながらご説明いたします。	B 19
関東ゆワイター株式会社	〒337-0001 埼玉県さいたま市見沼区丸ヶ崎1040番地-1 TEL.048-795-8551 FAX.048-795-8557 福島営業所 〒963-4312 福島県田村市船引字扇田231-1 TEL.0247-81-2701 FAX.0247-81-2702	矢崎太陽熱温水器ゆワイター(ミニチュア) ・ 太陽エネルギーを有効利用して、ご家庭の光熱費節約と、地球環境にもやさしい矢崎太陽熱機器商品 ・ 太陽熱温水器4㎡タイプ設置使用すると…年間5万円以上の光熱費節約(LPG換算)(矢崎ソーラーシュミレーション換算)およそ600kg/年のCO ₂ 排出量削減	B 15
株式会社黒澤工務店	〒960-8164 福島県福島市八木田字中島152番地ー4 TEL.024-545-3356 FAX.024-545-3357 http://www.kk-kurosawa.com/	製品名【商品名】: 光熱フィルター(窓用コーティング材・Xc-SR1800A) 半面に光熱フィルターを施工し残りの半面は未施工にして、ガラスを通過する熱の温度の違いを体感して頂くための器具(体感器)を設置して、来場者の方々に試していただく。光熱フィルターは、ガラス面に紫外線・赤外線を吸収する伝導性金属酸化物をスプレーコーティングし、熱と紫外線を吸収する耐久性の高い金属膜を形成させる特許技術です。夏は外気熱と紫外線をシャットアウトし涼しく、冬は室内の暖房熱を逃げにくくするため暖かく、しかもガラスが熱を持つため結露を抑制します。	B 18
郡山市生活環境課	〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目23番7号 TEL.024-924-2731 FAX.024-935-6790 http://www.city.koriyama.fukushima.jp	郡山市生活環境課では、「かんきょう楽習塾」特別プログラムとして廃食用油を使ってキャンドルを作る「リサイクルキャンドルづくり」を行います。そのままでは廃棄物となる廃油をキャンドルにリサイクルし、家庭で照明の代わりにキャンドルを灯しスローな夜を過ごすことで、二酸化炭素削減・地球温暖化防止を呼びかけます。リサイクルキャンドルは、初めての方にも手軽に作ることができます。参加は無料で、当日会場申し込みを受け付けます。皆さんぜひお出でください。	B 3
コムテックス(住まいの市場)	〒960-0102 福島県福島市鎌田字半在家2-1 TEL.024-553-4155 FAX.024-553-4171 http://www.sumaichi.com	省エネハイテク機器&ローテク機器の展示 ご家庭のエネルギー消費の約3分の1を占める給湯エネルギーを石油・ガスなどの化石燃料から安全・安心・クリーンな電気によるエコキュートに「エコ替え」することにより何と最大で年間10万円もの高熱費用が節約となります。IHクッキングヒーターも光熱費はLPガスの約2分の1と大変経済的です。かんたん電化リフォーム「ラクラクすぽっ!と電化」を特別価格でご提案致します。バイオマス燃料を利用した薪・ペレットストーブも展示致します。	B 17
サンポット株式会社郡山営業所	〒963-8041 福島県郡山市富田町字音路1番地109 TEL.024-962-9288 FAX.024-962-9266 http://www.sunpot.co.jp/	1. ペレットストーブ。環境を考えたエネルギー、木質ペレットを使用したやさしいぬくもり。 2. 地中熱ヒートポンプ冷暖房システム。無尽蔵の自然エネルギー(地中熱)を有効活用し、気候や外気温度などに左右されることなく冷暖房をより少ない電力で実現する画期的システム。 3. エコフィール。排気熱を有効に再利用する地球にやさしい給湯器。	B 20
常磐熔材株式会社	〒972-8312 福島県いわき市常磐下船尾町古内297-1 クリーンエネルギー事業部 TEL.0246-44-3322 FAX.0246-44-4899 http://www.joyco.co.jp	常磐熔材のブースにおける展示内容は、住宅用太陽光発電システム(シャープ)を展示いたします。実際の屋根の上に載せる太陽光発電パネルはもちろんのこと、設置したユーザーのデーターを紹介し、又現在の環境問題に対する取り組み等を紹介したいと思ひます。	B 4
株式会社ソーラーポスト	〒960-8204 福島県福島市岡部字大蔵52-3 TEL.024-535-5741 FAX.024-535-5731 http://www.solar-post.jp/	県内唯一の太陽光発電システムとオール電化の専門商社で、サンヨーの太陽光パネルHIT太陽電池を中心に設置されたお客様の事例・データなどをパネル等で展示します。	B 8

10 出展企業・団体一覧

企業名	所在地・担当部署・電話	展示内容	展示会場
ダイキン空調東北株式会社	〒963-8025 福島県郡山市桑野5丁目11番7号 担当部署:郡山営業所 TEL.024-922-6567 FAX.024-922-9673 http://www.daikin.co.jp/aircon/	ダイキンエコキュート オゾン層破壊係数ゼロの自然冷媒(CO ₂)を使用し、空気でお湯を沸かす、環境に配慮した給湯機です。 ダイキンルームエアコンRXシリーズ オンリー1機能「うるる加湿」 「水de脱臭」搭載の省エネパワフル暖房ルームエアコン。 ダイキン加湿空気清浄機 うるおい光クリエール、大風量すみすみ気流と本格加湿で、お部屋のどこにいても「きれい」と「うるおい」を提案致します。	B 2
合同会社地球と家族を考える会	〒963-8851 福島県郡山市開成4-28-17 有限会社建築工房 内 TEL.024-923-4861 FAX.024-923-4829	現在人類の存在を脅かす大きな問題として「地球温暖化」があります。同時に将来をこの問題に直面する子ども達もいます。次の時代を担う子ども達をどのような環境で育てるのかを、住環境を通して考えてみたいと思います。	B 11
特定非営利活動法人超学際的研究機構(福島県地球温暖化防止活動推進センター)	〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20 コラッセふくしま7階 TEL.024-535-9520 / 024-5359522 FAX.024-5359521 http://www.chogakusai.ecnet.jp http://fukushima-ondanka.org/	「ふくしま省エネ住宅リフォームフェアゾーン」の中心ブースとして、 ・ エコリフォームに関する相談コーナーの設置 ・ エコリフォームに関するパネル展示・資料提供 ・ 地球温暖化に関するパネル展示・資料提供 を行います。さらに、福島県地球温暖化防止活動推進センターが県内の小中学生を対象に実施した、STOP温暖化「ポスター」&「マイバッグデザイン」コンクールの入賞作品の展示を行います。	B 1
株式会社はしもと住宅店	〒963-7709 福島県田村郡三春町字小滝18-1 TEL.0247-62-2811 FAX.0247-62-2899 http://hashijyu.com/	ソーラーサーキット(SC)工法は「外断熱」の技術に「二重通気」の技術を組み合わせ独自に開発された家づくり。この二つを組み合わせることで、夏も冬も季節を問わずいつでも快適な住み心地が実現できる地球環境にやさしい住宅。パネル等による事例紹介を中心に2007、2008年度グッドデザイン賞を受賞した外気温センサーで室内環境を自動的にコントロールするSCナビゲーションシステムと薬剤を一切使用しない物理的防蟻工法のターミッシュフォームシステムも展示。	B 13
有限会社ピオール	〒963-0725 福島県郡山市田村町金屋字孫右工門平61-1 TEL.024-943-7337 FAX.024-444-5499	日本には世界に誇るべき建築文化の木造建築があります。木材を家づくりに生かす心と技が、歴史や風土につちかわれてきました。通気断熱WB工法は木材の調湿能力を生かしながら、さらに機械換気装置にたよらず独自の通気システムを構築し、まるで家自身が呼吸しているように自然な通気制御を実現しています。	B 16
ふくしま家づくりネットワーク	〒960-0116 福島県福島市宮代字一本松91(有)菊地設計 内 TEL.024-553-3065 FAX.024-553-9609 http://f-iezukuri-ne.hp.infoseek.co.jp	ふくしまの木で家をつくるグループとして活動を始めて4年目になります。林業家・製材所・建築士・大工・工務店が一体となって県産材を使った家づくりに取り組んでいます。発足から今までの活動(森林・製材所の見学会、講演会・勉強会、住宅の見学会、他団体との交流会など)や、実際に完成した住宅などについて、パネルを中心に展示します。	B 14
福島県耐震化・リフォーム等推進協議会	〒960-8061 福島県福島市五月町4ー25 TEL.024-521-4033 FAX.024-521-5087 http://fukushima-taishinreform.jp/	・ 住宅の耐震化・リフォームをお考えの方に、お役立ち情報満載のパンフレット等をご提供いたします。 ・ 住まいのお悩みにも、建築士など専門家がお応えする無料相談会を行います。 ・ 耐震化・リフォームのパネル展示とともに、住宅模型や牛乳パックの紙模型で、耐震の重要性を分かりやすく説明します。	B 7
財団法人ふくしま建築住宅センター	〒960-8061 福島県福島市五月町4-25 福島県建設センター4F 企画部 TEL.024-573-0118 FAX.024-573-0160 http://www.fkc.or.jp	住宅瑕疵担保履行法が、平成21年10月1日から本格的にスタートします。この法律は、住宅事業者が新築住宅を住宅購入者に引き渡す際に、資力確保として保険への加入又は供託を義務づけております。当センターは、この法律で定められた保険である「まもりすまい保険」を提供する(財)住宅保証機構の県内の取次店です。今回は、住宅事業者の皆様やこれから新しい家をお求めになる方々への相談窓口を設置しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。	B 10
福島県木材青年協会	〒960-8043 福島県福島市中町5-18林業会館 TEL.024-523-3307 FAX.024-521-1308 http://www.fmokuren.jp/wakai	第33回福島県児童・生徒木工工作コンクール上位入賞作品13点を展示します。地球の未来を担う子どもたちが木に親しみ、木の持つ優れた特性について理解を深めながら取り組みました。参加総数1、257点。審査の結果、その中でも特に木の特性が生かされ、かつ独創性、デザイン性、工作技術に優れていると認められた作品が選ばれました。本県の作品レベルは非常に高く、全国コンクールにおいても常に入賞を果たしています。	B 6
福島県林業振興課	〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号 TEL.024-521-7432 FAX.024-521-7908 http://www.pref.fukushima.jp/forestry/index/findex.html	◆木造住宅への県産木材供給について 福島県産ブランド材「とっての木」等をパネルで展示します。 ◆県産木材の利用と森林環境の関わりについて県の施策等をご紹介します。 TEL.024-521-7432 ◆県産木材製品等の展示 ◆木とのふれあいコーナー木質ベレットプールと県産スギ板バズル等により、子どもたちが木のぬくもりを体感できます。	B 5
福島中央テレビ「チームふくしま」	〒963-8533 福島県郡山市池ノ台13-23 業務部内「チームふくしま」事務局 TEL.024-923-3300(代) FAX.024-923-7324 http://www.fct.co.jp/team_fukushima/	『地球温暖化』は遠い世界の出来事でも、遠い未来の出来事でもありません。今の子供たちの世代が直接影響を受ける、すぐそこにある「危機」なのです。FCTでは、『いま、私たちに出来ること』を合言葉に、チーム・マイナス6%の浸透を訴える温暖化防止活動「チームふくしま」を07年より展開しています。会場ではこれまでの活動紹介をはじめ、出展する企業・団体と連携した企画を展開いたします。	B 9

ふくしま環境・エネルギー産業ネットワーク会議ゾーン

会津大学	〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀情報センター TEL.0242-37-2565 FAX.0242-37-2565 http://www.u-aizu.ac.jp/	会津大学が進めている地域活性化の取組みの概要(会津地区の局所気象予測や猪苗代湖の湖流等の環境シュミレーションとその応用など)をパネル、小冊子等でご紹介いたします。	C 2
-------------	--	---	--------

出展企業・団体一覧 11

企業名	所在地・担当部署・電話	展示内容	展示会場
いわき明星大学	〒970-8551 福島県いわき市中央台飯野5-5-1 産学連携研究センター TEL.0246-29-7184 FAX.0246-29-7184 http://www.iwakimu.ac.jp	いわき明星大学では、環境エネルギー問題に対する取り組みや、新エネルギーの普及・啓蒙に関する様々な活動を行っており、その活動事例をパネル展示等にてご紹介いたします。 ・ 文部科学省【現代GPI】選定事業 テーマ:「地域連携による環境エネルギー教育者の養成」 ・ 経済産業省資源エネルギー庁委託エネルギー教育【地域先行拠点大学】事業 テーマ:「エネルギー環境教育の地域連携ネットワークの構築」 ・ 大学紹介および産学連携研究センター活動紹介	C 3
株式会社常磐エンジニアリング	〒973-8405 福島県いわき市内郷白水町浜井場1番地 営業部 TEL.0246-27-6201 FAX.0246-27-0071 h-okuyama@jec-i.com	小型木質ペレットストーブ [ECO PELLET 彩] 19年度いわき市戦略産業プロデュース事業採択 20年度木質資源利用拡大技術高度化事業採択(林野庁) 19年度いわき市新規事業認定商品	C 6
トラスト企画株式会社	〒971-8183 福島県いわき市泉町下川字八合61-4 TEL.024-656-2776 FAX.024-656-7150	「バイオマスエネルギー発生システム」 多種多様の有機性可燃物をガス化し、それから化石燃料の代替エネルギーを取り出すコンパクトな装置であり、廃棄物の抑制・減量化を行うことができます。	C 1
日本大学工学部情報工学科	〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1 TEL.024-956-8832 FAX.024-956-8832 http://www.ce.nihon-u.ac.jp	自然・循環型クリーンエネルギー発電システムの研究	C 7
株式会社フミン	〒960-8161 福島県福島市郷野目字上21 TEL.024-544-0223 FAX.024-545-0620 http://www.fumin.jp/	光熱フィルターは、伝導性金属酸化物を市販のスプレーガンでガラス面に斑なく透明に塗膜を形成する特許技術です。そのガラスが、夏は不快な外気熱を吸収し、冬は室内の熱を吸収するため結露を抑制するという地球環境にやさしいまったく新しい ヒートアイランド対策技術「環境省・環境技術実証事業ETV<051-0724>」に認定されています。	C 5
福島大学地域創造支援センター	〒960-1296 福島県福島市金谷川11 地域創造支援センター(地域連携グループ) TEL.024-548-8012 FAX.024-548-5244 http://www.fukushima-u.ac.jp/	福島大学の共生システム理工学類では理学・工学・社会科学を融合した新しいシステムのもとで、人・産業・環境の3つの領域で研究を展開しています。得られた成果は地域創造支援センターなどを通じて、広く地域に公表しています。今回は、持続循環型の産業システムを構築するための「新エネルギー・リサイクル・廃棄物管理などの研究」、豊かな環境を次世代に残すための「自然環境を理解するための研究」、 「環境改善技術の研究」について、紹介します。	C 4

エコリサイクル製品・建設新技術新工法ゾーン

株式会社シンワ	〒960-8055 福島県福島市野田町七丁目10-6 TEL.024-534-0021 FAX.024-534-0024	福島県産スラグ細骨材使用 透水性リサイクルショット加工舗装材「エコアックASR」※うつくしま、エコリサイクル製品認定品 認定番号16-28 製品の特徴・水たまり、水はねをおさえ、雨天時や雨上がりの歩行・走行が快適な透水性舗装・資源の有効活用を目的にリサイクル率60%を実現・雨天時にも滑りにくい表面ショットプラス加工・環境と調和をコンセプトに選定したスタンダードカラー・バリエーションに配慮した2mm目 新たな機構「JS工法」を取り入れることで舗装材をフラットに保つ新しいシステム。ジョイント材を組み合わせることで段差の抑制を計る。	D 3
株式会社テクノクリート	〒963-8042 福島県郡山市不動前1-79 TEL.024-921-5077 FAX.024-921-9066 http://www.kenshin-r.co.jp/	不要管渠への確実な充填工事ならセルクリートにお任せください。セルクリート工法は、これまで「エアームタル」や「エアームルク」などによる注入充填工事の欠点を改良した、画期的な注入充填工法です。<セルクリートの主な特徴> 水中での材料分離がほとんど無く、ブリージングが起こらないため滞留水がある内空への確実な注入が可能。車上プラントによる施工が可能のため、即日解放が可能です。分離特性・流動性に優れ、長距離圧送・狭小部への充填が可能です。	D 11
東亜道路工業株式会社	〒981-3111 宮城県仙台市泉区松森字西沢13-1 技術部(技術センター) TEL.022-372-1273 FAX.022-372-0801 http://www.toadoro.co.jp	地球温暖化・循環型社会へ向けた建設技術・工法として以下3点を展示しています。 ① 従来工法と同程度の機能を持ち、舗装発生材を50%削減する「POSMAC工法」 ② 近赤外線を反射することにより、アスファルト舗装への蓄熱を抑制し、ヒートアイランド対策に寄与する工法「ニューカラーコートC及びF」、「ヒートシールド」 ③ 色あせて表面が傷んできたアスファルト舗装を特殊薬剤でリフレッシュさせ、維持管理費やCO ₂ の削減に貢献する「トップアスコート工法」	D 4
東関クレテック株式会社	〒9963-8061 福島県郡山市富田町字菱内16 営業本部 土木・基礎事業部 TEL.024-962-2282 FAX.024-962-4303	認定番号18-46 製品名:スーパーテラFR 福島県いわき市、小名浜精錬所で発生する銅スラグを再利用した、主に歩道に用いる透水平板です。表面にショットプラス加工を施し、様々な景観に対応できるよう、カラーバリエーションを取り揃えております。凍結融解試験も実施しており、寒冷地でも安心してご使用頂けます。 製品寸法 300×300×60:150×150×60(mm) 300×300×80:300×300×80(mm)	D 9
東電環境エンジニアリング株式会社	〒108-8537 東京都港区芝浦4丁目6番14号 営業本部営業部建材営業グループ TEL.03-6372-7093 FAX.03-3452-4617 http://www.tee-kk.co.jp	無焼成レンガ風ブロック「アーザンブリックス」は各種循環資源を原料とし、焼くことなく高密度化、自然乾燥で固化できるエコロジー&エコノミーな地球に優しい製品です。我々はこの「無焼成固化工法」から生まれる素材で温かみあるレンガ風ブロック「アーザンブリックス」により、循環型社会への実現に一役担うべく、ゼロエミッションへの挑戦を続けていきます。私たちは「お客様も排出者もメーカーもそして地球も喜ぶ製品作り」をめざしています。	D 6
有限会社浜尾量商店	〒962-0402 福島県須賀川市仁井田字日向窪34 TEL.024-878-2146 FAX.024-878-2147	量の良さの再確認 量の色々を展示	D 7

企業名	所在地・担当部署・電話	展示内容	展示会場
PAN WALL 工法協会 株式会社 テクノサポート	〒461-0004 愛知県名古屋市長区葵3-22-5 矢作葵ビル3F パンウォール事業部 TEL.052-979-8808 FAX.052-935-2509 http://www.dl.dion.ne.jp/~panwall	〔工法名〕PAN WALL工法(テーマ)安全な逆巻き施工による地山補強土工法〔工法説明〕PAN WALL工法は急勾配斜面安定工法、地山補強土工法の理論に基づく工法です。補強土工法の表面保護として、プレキャストコンクリート板を使用して、急勾配(1分〜5分)化により自然法面を可能な限り残し、逆巻き施工を基本とした安全性の高い工法です。◎国土交通省 NETIS登録番号【CB-980093-A】	D 5
福島県環境共生課／福島県技術管理課	〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号 TEL.024-521-7248 FAX.024-521-7928 http://www.pref.fukushima.jp	廃棄物の有効利用とリサイクル産業の育成を図るため、循環資源を原材料として製造された優良な製品を認定し利用を推進する制度「うつくしま、エコ・リサイクル製品認定制度」について紹介します。また、公共事業に利用可能な建設新技術新工法とはどのようなものか紹介します。	D 8
双葉物産合資会社	〒979-1506 福島県双葉郡浪江町大字室原字西小萱158 TEL.0240-34-2918 FAX.0240-34-2918	エコ・リサイクル製品 土壌基盤材 ハイソイル 有機発酵肥料 ハイソイルα 関連製品 プランター用培養土 フラワーソイル	D 1
丸栄コンクリート工業株式会社	〒963-8025 福島県郡山市桑野5-4-10 北関東支店郡山営業所 TEL.024-934-8313 FAX.024-934-8321 http://www.maruei-con.co.jp	高い耐震性及び水密性能が確保できるボックスカルバート「DCJボックスカルバート」と、クレーン施工が困難な場所でのコンクリート製品の搬送・据付を可能とした「リフトローラー工法」についてのパネル等で展示します。	D 10
吉田工業株式会社	〒979-1541 福島県双葉郡浪江町大字田尻字間立81番地 TEL.0240-34-4911 FAX.0240-34-4914	福島県内の家庭及び事業者から排出される廃ガラスを砕き、製品に使用する骨材として使用し、多機能な製品を製造しています。 主な特徴 ①高強度である。 ②凍結融解作用を受けない。 ③融雪剤等、薬品による劣化がしにくい。 出展製品(うつくしま、エコ・リサイクル認定製品) レジンコンクリート集水樹・レジン側溝ふた・レジンデリネーター・レジン境界杭・レジンホール。	D 2

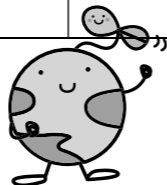
環境土木・環境建築ゾーン

笠原工業株式会社	〒962-8502 福島県須賀川市上人垣1番地 合成事業本部企画・営業推進室 TEL.0248-75-6191 0248-75-6195(企画営業推進室直通) FAX.0248-63-2001 http://www.s-kasahara.co.jp	発泡スチロールの98%は空気です。原料はわずか2%しか使われていません。そして80.9%(2007年実績)以上がリサイクルされています。断熱性に優れており、省エネルギー効果を発揮し、CO ₂ 削減に貢献しています。ノンフロン・ノンホルムアルデヒド。グリーン購入法に適合しており、プラスチックの中でも環境にやさしい素材です。発泡スチロール製品は農水・家電・建築・土木関連などさまざまな業種で使われており、今後お客様のご要望にお応えできる製品の供給に努めてまいります。	E 3
クリスタルコンクリート協会 福島支部 株式会社A・M・O・S 株式会社共立土建 福島舗装株式会社 株式会社ひまわり 株式会社渡辺塗装工業 株式会社関根ブロック	福島県双葉郡浪江町大字榎渡字前田25-1 TEL.0240-35-5273 福島県会津若松市インター西69 TEL.024-237-2221 福島県福島市下飯坂字向河原7-3 TEL.024-553-2778 福島県須賀川市森宿字道入19-13 TEL.0248-75-5133 福島県双葉郡双葉町清草字東迫101 TEL.024-033-2570 福島県福島市南沢又字北屋敷19-5 TEL.024-557-1547	T&C防食工法これまで不可能であったコンクリート構造物のスケーリングによる劣化を防止します。建技審証取得クリスタルCP工法農業用水利施設(用水路等)の維持補修工法です。U・S・C・Pモルタル等を塗上げ、補修面の粗度を向上しさらにT&C防食工法を用い水路の延命を図る工法です。落書き防止工法無機質ホーロー皮膜を基材表面に形成することで、紫外線、耐薬品性に強い、高硬度な防汚層を長期に渡り性能を発揮し、排気ガス、有機溶剤を使用する落書き汚れても、簡単に除去できる工法です。	E 2
ノンフレーム工法研究会	〒135-0042 東京都江東区木場2丁目17番12号 日鐵住金建材㈱気付 TEL.03-3630-2173 FAX.03-3630-2709 http://www.non-frame.com/	ノンフレーム工法(自然斜面安定化工法) ノンフレーム工法は、樹木を可能な限り伐採しないで斜面の安定性を高める“自然斜面安定化工法”です。切土や樹木伐採を行わずに施工できるため、①生態系を乱さず自然環境に優しく、緑豊かな景観を守ります。また伐採木や残土、建設副産物がほとんど発生しないことから②コスト縮減や工期短縮が可能です。さらに③小型機械で作業できることから、狭隘な現場条件でも施工が可能です。	E 1

廃棄物処理・リサイクルゾーン

アイアンドエヌ	〒962-0042 福島県須賀川市稲字門ノ内47 TEL.024-876-6381 FAX.024-876-6385	飲料容器のリサイクルを中心に革新的システムのサービスを提供します。回収機の活用を中心に、回収から再資源化までの一貫したシステムを社会生活の中に取り入れ、民間主導の循環型社会づくりを実現します。	F 6
株式会社釜屋	〒962-0832 福島県須賀川市本町60番地 TEL.0248-75-1100 FAX.0248-76-8115 http://www.kama-ya.co.jp	当社ブースでは廃自動車から再利用できるパーツ及びエアコン、テレビ、洗濯機の廃家電製品を展示し、廃自動車・廃家電製品から取れる再生資源とそ のリサイクルの流れを紹介しております。また自動車リサイクルの流れや家電リサイクル法による再商品化率などの資料も展示しております。一般家庭にある 身近な製品がどのように解体・選別され、そしてリサイクルされているかを紹介しておりますので、是非お越しください。	F 15
株式会社協和エムザー	〒963-8026 福島県郡山市並木2-14-4 IPM事業部及びアックアテック事業部 TEL.024-923-5035 FAX.024-938-6910 http://www.emser.co.jp/	虫と水のドクター 協和エムザーは、害虫防除・衛生管理と給排水設備の維持管理及び産業廃棄物処理を通じて、環境衛生を総合的に管理しております。今回、虫のドクターであるIPM事業部では、薬をまかないシロアリ防除工法「セントリコン・システム」の概要をご案内いたします。また、水のドクターであるアックアテック事業部では、給排水衛生設備の維持管理及び産業廃棄物汚泥の収集運搬処理についてご案内いたします。	F 13

企業名	所在地・担当部署・電話	展示内容	展示会場
株式会社クレハ	〒974-8686 福島県いわき市錦町落合16 生産本部 いわき事業所 TEL.024-663-5111 FAX.024-663-4456 http://www.kureha.co.jp/index.php	NEWクレラップとキチントさんシリーズを、ご紹介いたします。 NEWクレラップは、ふれても手を傷つけにくく、廃棄物の刃の取り外しが簡単な、植物生まれのプラスチック刃を採用しています。	F 12
株式会社クレハ環境	〒974-8232 福島県いわき市錦町四反田30 環境営業部 TEL.0246-63-1240 FAX.0246-63-4964 http://www.kurekan.co.jp/	当社は産業廃棄物の中間処理業を主業とし、処理の困難な重金属類、DXN 類、ハロゲン化合物、農業類等を高度な熱分解処理技術で適正処理に取り組んでまいりました。また、近年は環境修復事業を広域的に展開し、調査・解析～浄化、モニタリングまで一貫して実施し、有害物質等の複合的な汚染サイトを原状回復いたしております。当社は本展示会にて、これらの処理困難物への取り組み、環境修復活動についてパネル、模型等を用いて情報を発信し、より良いサービスを提供いたしたく存じます。	F 14
恵和興業株式会社	〒960-1107 福島県福島市上鳥渡字いのぶ台26-31 TEL.024-539-5456 FAX.024-593-5508 http://www.keiwa.be	新しいリサイクルをのぞいてみませんか?恵和興業は廃棄物処理のプロとして、廃棄物の適正処理とリサイクルを推進しております。 このたび、東北大学大学院との協働研究により開発した新しい技術により、今までリサイクルが困難で埋立処分されていた建設混合廃棄物の再資源化が可能になり、リサイクル率が飛躍的に向上しました。仙台・福島・郡山のケイワグループが取り組んでいる、ゼロエミッション達成に向けての挑戦をご紹介いたします。製品として生まれ変わった廃棄物をご覧ください。	F 7
株式会社 コラボ・ウェスト	〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字八ヶ代山1番地 プロジェクト推進室 TEL.0248-53-3060 FAX.0248-53-3090 http://www.collabo-waste.com	麺くすを中心に食品残さを主要な原材料とし、豚用または牛用混合飼料の開発に取り組んでいます。これまで乾燥・造粒が難しかった生うどんや豆腐かすなどを低コスト乾燥システムによって処理された保存性、ハンドリングに優れたエコフードを展示します。畜産農家の個別需要に応じ、それぞれの成分を有するエコフードを出荷段階で配合する「カスタム・エコフード」を目指しています。食品残さを排出される食品関連事業者の方々のご来場もお待ちしています。	F 8
相馬環境サービス株式会社	〒976-0021 福島県相馬市原釜字南戸崎23番地 技術開発部 TEL.0244-38-7752 FAX.0244-38-7827 http://www.somakankyoo.co.jp	石炭火力発電所から発生する石炭灰は、年々増加しており用途拡大による有効活用が課題となっています。本再生資源化技術では、石炭灰を酸洗浄処理により、ほう素等の重金属類を低減し、その用途活用の多様化を実現可能にしました。ここでは、酸洗浄処理技術のシステム概要、本技術により誕生した新材料クリーンアッシュの特徴、及びその特徴を活かした用途開発の取り組みと効果についてポスター展示します。	F 4
株式会社タカヤマ エコジョイン富岡	〒979-1141 福島県双葉郡富岡町大字上手岡字茂手木198-4 東北事業部 TEL.0240-22-7311 FAX.0240-22-6311 http://takayama.org/	弊社は平成17年度に、福島県で第一号のバイオマスタウン構想に認定された会社です。現在、富岡町内の一般家庭から排出される生ゴミをリサイクルし、そこで出来た堆肥を町の農家100軒へ供給しています。年間の受入量が約9000t、堆肥製造量が2000tの大型施設です。更に、全国でも類を見ない3000?の脱臭装置を完備しています。これから、地産地消の町づくりを目指して特別栽培米の販売にも力を注いでいきます。弊社の目指すものは「有機善循環」!これからも進化し続けます。	F 5
株式会社中上一商店	〒961-0835 福島県白河市白坂鶴子山66-1 TEL.0248-28-2921 FAX.0248-28-2922 http://www.office-nakagami.co.jp	かけがえない地球を次の世代へ21世紀は、これまでの「使い捨て」の社会に別れを告げる世紀です。これは、地球からいただいた大切な資源を上手に使う「循環型社会」の形成に取り組む世紀なのです。私たちに、祖先から引き継いできた環境をよりよく将来の世代に確実に引き継いでいく義務があります。弊社は、古紙・スクラップ・廃プラ等のリサイクル企業として、ごみゼロエミッションへ挑戦しております。	F 10
社団法人 福島県産業廃棄物協会	〒960-8043 福島県福島市中町9-9 読売民友ビル別館4階 TEL.024-524-1953 FAX.024-523-4723 http://www.fukushima-sanpai.jp/	産業廃棄物の収集運搬・リサイクル・中間処理・最終処分まで、信頼のおける許可業者約300社の会員が環境保全と健全な産業廃棄物育成に貢献しています。また、「地球温暖化防止活動宣言」を行うとともに、「環境自主行動計画」に即しながら地球温暖化防止活動を推進しています。	F 3
社団法人 福島県産業 廃棄物協会青年部会	〒960-8043 福島県福島市中町9-9 読売民友ビル別館4階 TEL.024-524-1953 FAX.024-523-4723 http://www.fukushima-sanpai.jp/	産業廃棄物の収集運搬・リサイクル・中間処理・最終処分まで、信頼のおける許可業者約300社の会員が環境保全と健全な産業廃棄物育成に貢献しています。また、「地球温暖化防止活動宣言」を行うとともに、「環境自主行動計画」に即しながら地球温暖化防止活動を推進しています。	F 2
社団法人 福島県浄化槽協会	〒960-8055 福島県福島市野田町1-16-35 TEL.024-531-1778 FAX.024-531-0880 http://www.f-jkjk.com	“未来(あす)の豊かな水環境をつくる浄化槽” 福島県の美しい水環境を守る浄化槽について紹介します。 皆さんの身近な水辺に美しいせせらぎを取り戻しましょう。 ・浄化槽普及パンフレットなどの配布、パネル展示 ・窒素、リン除去型高度処理浄化槽カットモデルの展示 ・顕微鏡による微生物の観察体験など	F 1
株式会社福良梱包	〒960-2153 福島県福島市庄野字一本柳1-14 TEL.024-593-4122 FAX.024-593-4103	最近話題のダンボール製コンポスト略して【ダンボスト】電気は使わず、1日500g～1kgの生ゴミを分解処理してくれます。ノーマルタイプ3、150円とスリムタイプ4、620円の2種類があり3ヶ月で約40kgの生ゴミを分解してくれます。箱の印刷面から出る【マイナスイオン】とダンボールの【通気性】の他基材内の【動炭】のトリプル作用により驚くほど臭いは少ないんです。入れる食べ物により温度が変わりますのでまるで生ゴミをエサにする生き物を飼っている気分になりますよ。	F 9
マテリアル リソーシング 東北株式会社	〒012-0801 秋田県湯沢市岩崎字壇ノ上3-4 開発管理部 TEL.0183-56-8370 FAX.0183-56-8372 http://www.mr-thk.com	リサイクルガラス造粒砂「サンドウェーブG」をご紹介いたします。実際にサンドウェーブGを触っていただき、鋭利な角を持たない安全なガラス造粒砂であることを体験できます。また、製品の特徴である優れた透水性を示す比較実験装置、及び初めてサンドウェーブGが採用された施工事例等のパネルを展示します。	F 11



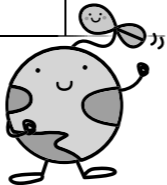
環境バイオ・環境農業ゾーン			
企業名	所在地・担当部署・電話	展示内容	展示会場
株式会社 塩田建設工業	〒969-0307 福島県白河市大信中新城字内屋敷46番地 TEL.024-846-2560 FAX.024-846-2592	簡単操作で、大量の生ゴミを大幅減量 投入された生ゴミは、槽内での攪拌により破砕された後、バイオによる有機成分の発酵分解へ。生ゴミの主成分である米・パンなどの炭水化物、肉・魚などのタンパク質、野菜類などの繊維質といった有機物を一括で分解し、大量の生ゴミも効率よく処理する。と同時に、装置は使い良さを重視した簡単設計を実現しました。運転前にタッチパネルで稼働モードを選ぶだけの簡単操作、日常のメンテナンスも少ない残渣で余計な手間がかかりません。	G 2
株式会社バイオ技研	〒989-1224 宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬青木27-13 TEL.0224-51-4215 FAX.0224-51-4216 http://www.012.upp.so-net.ne.jp/ biogiken/	有機物質の乳酸発酵酵素分解処理たい肥化リサイクル。開発商品である、コンポスト剤による発酵処理技術、及び乳酸発酵処理専用開発した機械等の紹介をいたします。又、生ゴミ廃棄物を焼却する事により、CO ₂ が発生しますが、このバイオ技術での処理は、有機物をリユースする事によりCO ₂ をリデュースする事が出来、地球温暖化対策に貢献出来ます。更に、この技術で作られた有機肥料は、養分豊富で多種のアミノ酸が含まれ、害虫が発生しにくく、農業を使わない有機農業にも貢献できる肥料を展示・紹介いたします。	G 3
バイオ機工株式会社	〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二丁目2-1 企画部 TEL.022-726-9730 FAX.022-726-4216	乳酸発酵酵素分解処理技術による施設設備設置等のご案内、及びこの施設で作られた有機肥料を紹介いたします。又、科学肥料や農業による土壌汚染、食の安心安全が求められておりますが、当社では毎日安心して食べられる、有機栽培を促進する有機肥料をパネル等で展示・紹介いたします。	G 4
ヤンマー エネルギーシステム 株式会社	〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野字草野120-1 仙台支店営業部空調システムグループ TEL.022-258-4366 FAX.022-258-8890 http://www.yanmer.co.jp	下水汚泥、畜産糞尿、食品系から発生するメタンガスや温泉掘削に伴って発生する自噴ガスといったバイオガスを燃料とした小型コージェネレーションシステムを展示します。導入時のエネルギー有効利用やCO ₂ 削減をはじめとした環境性を解説したパネルと安心で経済的な総合保守点検「YESパートナー」の解説資料も用意しています。	G 1

環境対策・環境啓発ゾーン

企業

株式会社アサカ理研	〒963-0725 福島県郡山市田村町金屋字マセ口47番地 貴金属事業部開発部 TEL.024-944-4744 FAX.024-944-4749 http://www.asaka.co.jp	光触媒「凜光」の水溶液見本および紹介パネル、実際に凜光を塗装した外装建材を展示します。ご紹介する光触媒「凜光」チタニア-シリカ水溶液は、酸化チタンと酸化ケイ素が結合し過酸化結合も有することが特徴です。酸化チタン構造部分で光触媒機能を、酸化ケイ素構造部分で親水性機能をそれぞれ発揮する画期的なハイブリッド光触媒として、注目されています。外壁や自動車の外装に塗装することで、親水性と有機物酸化分解機能の複合効果により防汚効果を発揮します。	H 11
アサヒビール 株式会社 福島工場	〒969-1181 福島県本宮市荒井字上前畑1 TEL.024-333-4111 FAX.024-333-5559	1.地球温暖化の防止 2.水使用の保全 3.廃棄物の発生・排出抑制	H 2
荒川産業株式会社 リサイクル ミュージアム くるりんこ	〒966-0056 福島県喜多方市宇屋敷免3960 TEL.0241-21-1511 FAX.0241-24-2100	リサイクルミュージアムくるりんこは、平成6年11月に開設されました(弊社3階)。当社の取扱い品目に限らず、広く、大きく環境やリサイクルについての情報発信基地でありたいと願っております。入場者数はまもなく10,000に近づきます。ゴミやリサイクルの授業では小学校3-4年生の皆さん、地区の区長さん、環境委員さん、生協の組合員さん企業から、又個人でお越しの皆さま、ありがとうございました。ごいっしょに考えましょう!どうぞおいでください。	H 4
いわき大王製紙 株式会社	〒974-8242 福島県いわき市南台4丁目3番6号 総務部総務課 TEL.0246-62-1111 FAX.0246-62-8600 http://www.iwaki-daie.co.jp/	当社は、「古紙を最大限に有効活用する」とのコンセプトのもと、総合製紙メーカーである大王製紙のグループ会社として設立され、年間50万?の古紙を原料として段ボール原紙と新聞用紙を製造しています。今年10月に2基目のバイオマスボイラーが稼働し、化石燃料由来のCO ₂ 排出量は、工場が本格稼働した平成9年の24万?から、平成21年は3万5千?と85%の大幅削減となります。古紙のリサイクルやバイオマス発電を通じた環境保全の取り組みについてパネル展示等でご紹介致します。	H 20
株式会社 エフアイティ フロンティア	〒960-0695 福島県伊達市原原町字東野崎135 TEL.024-574-2366 FAX.024-574-2255 http://jp.fujitsu.com/group/fit/fitf/recycle/	当社は「富士通東日本リサイクルセンター」として、ご使用済のパソコン、プリンタなどの情報機器やオフィス機器などを分解して、金属、プラスチック、ガラスなどに再資源化しています。本ブースでは当社のリサイクルを映像やパネルでご紹介するとともに、パソコンの文化遺産展示や、環境についてのクイズを行い、適正リサイクルについて分かりやすくご説明します。メインは「パソコン解体ショー!!」解体のプロが、みなさんの目の前でパソコンをバラバラにします。ぜひごらんください。	H 9
北芝電機株式会社	〒960-1292 福島県福島市松川町字天王原9番地 経営企画部 環境技術グループ TEL.024-537-2124 FAX.024-537-2426 http://www.kitashiba.co.jp	当社は環境調和型製品の提供や、環境コミュニケーションを通して積極的な環境活動を推進してまいりました。今回の展示会を通して、北芝が取り組んできた環境活動についてご理解・ご意見を頂きますよう以下を展示しますので、是非お越し下さい。 ・工場での環境への取り組み ①特高変電所改修工事における環境への配慮 ②揮発性有機化合物(VOC)分解装置の導入 ・環境調和型製品創出への取り組み①環境調和型なたね油入り変圧器の開発②環境配慮型配電盤	H 10

企業名	所在地・担当部署・電話	展示内容	展示会場
学校法人 郡山開成学園	〒963-8503 福島県郡山市開成三丁目25番2号 担当部署:管財部 TEL.024-933-1955 FAX.024-933-1955 http://www.koriyama-kgc.ac.jp	本学園は、平成16年12月に教育機関では全国初となる環境省策定の国内マネジメントシステム「エコアクション21」の認証・登録を受けた。「教育研究をはじめとするあらゆる活動を通じ、地球環境の調和・共存と持続的に発展可能な循環型社会の構築のため、全学挙げて環境活動に取り組む」との環境理念のもと4つの環境方針を定め、環境活動に取り組んでいる。日頃の活動状況並びに産・学・官連携に基づく新規加工食品開発「アザギ大根を利用した生活習慣病予防食品の研究開発状況」について展示発表する。	H 15
地球にやさしい “ふくしま” 県民会議 会津地方会議	〒965-8501 福島県会津若松市追手町7番5号 TEL.0242-29-3912 FAX.0242-29-5520 http://www.pref.fukushima.jp/aizu/shinko/chikyuyasa_aidu/O1index.htm	地球にやさしい“ふくしま”県民会議会津地方会議は、会津地方の地球温暖化防止に向けた活動の拠点として平成20年6月25日に設立しました。その構成団体の地球温暖化に対する取組みについてパネル等で紹介します。 エコ標語や「1日エコライフ」チャレンジシートによる二酸化炭素排出量削減への取組み事例、ペロタクシー（福島県で走っているのは喜多方市だけです!）などについて展示しますので、お気軽にお立ち寄りください!	H 26
東北地域 エネルギー・ 温暖化対策 推進会議	〒980-8403 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1-5F 東北地域エネルギー・ 温暖化対策推進会議事務局 TEL.022-263-1207 FAX.022-213-0757 http://www.epo-tohoku.jp/ontai/index.html	当会議は、東北地域における地球温暖化対策を実効性のあるものとするため、エネルギー、環境、産業、都市政策等を担当する政府部門と、関連する地方公共団体、エネルギー関係者等が連携して取り組むことの出来る場として平成17年3月に設置し、情報共有、課題抽出・分析、情報発信等の活動を行っております。展示ブースにおいては、地球温暖化の現状やその対策に係るパネルと地球温暖化模型を展示するほか、削減できるCO ₂ の量がわかる「私のチャレンジ宣言」にトライしていただけます。	H 38
東北バイオマス 発見活用 協議会	〒160-0022 東京都新宿区新宿1-11-15 (株)循環社会研究所内 TEL.03-5363-0181 FAX.03-5363-0182 http://tohokubm.com/index.html	東北バイオマス発見活用協議会では、地域のバイオマス利活用の推進を図るため、東北地域事業を東北6県で展開しています。今回は、各種バイオマスの取り組み状況や福島県内におけるBDF事業、他県におけるバイオエタノール等の先進事例についてのパネル展示を行うとともに、サンプル等の展示を行います。またBDFで走る会津のロンドンタクシー等も展示します。バイオマスの歌の紹介もいたします。20日午後、3階・中会議室Bでは「東北バイオマス研修会in福島」を開催しますので、こちらにも是非ご参加ください。	H 18
2009年 FISフリースタイル スキー世界選手権 猪苗代大会組織 委員会	〒969-3123 福島県耶麻郡猪苗代町字城南100番地 TEL.0242-72-1557 FAX.0242-72-1559 http://www.inawashiro2009.jp/	2009年3月、猪苗代町・磐梯町を会場に「2009年FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会」が開催されます。この世界選手権は、オリンピックに次ぐ権威と規模を有する2年に1度開催される大会であり、世界各国の一流選手が結集し、世界一を決定するハイレベルな大会です。展示におきましては、本大会の魅力をお伝えするとともに、この大会で実施するカーボン・オフセット事業の概要についてご紹介いたします。	H 19
社会福祉法人 にんじん舎の会	〒963-0663 福島県郡山市下白岩町波前場45 TEL.024-942-2444 FAX.024-942-2445	私たちの夢、共になさませんか ① 家庭用生ゴミ処理機HAIKAKUN展示 ② パワーポイントによる活動紹介 ③ 私たちの夢共になさませんか、パネル展示	H 37
はげっ子倶楽部	〒976-0022 福島県相馬市尾浜字南ノ入241-3 TEL.024-464-2042 FAX.024-464-2042 http://www.geocities.jp/hazekkoclub/index.html	ようこそはげっ子倶楽部へ。2000年より松川浦での環境保全活動を行っていますが、今回は、松川浦に生息する貴重な動植物の写真やリストを展示します。また年4回松川浦に流込む川・宇多川・小泉川の6ポイントで行っている水質調査のデータも公表します。(川にも温暖化の影響が!?)。さらに今年春に話題を呼んだ松川浦のガイドブック「まるごと松川浦」は1ヵ月で6000部を完売する人気でしたが、増刷したものを展示即売するコーナーも設けますので、お楽しみに! 1冊1000円です。	H 36
ふくしま海洋科学館 (アクアマリン ふくしま)	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字辰巳町50 展示企画課 TEL.0246-73-2536 FAX.0246-73-2527 http://www.marine.fks.ed.jp	環境水族館アクアマリンふくしまの移動水族館専用車「アクアラバン」による展示を行います。アクアラバンには、サンゴ礁の海に生息する色彩鮮やかな熱帯魚を観ていただく水槽と福島県沿岸にすむヒトデやナマコ、ウニなどを手にとって観察ができるタッチプールがあります。来場者のみなさんには、生物の多様性を観、そして体感することで、生物やそれらが生息する自然環境について関心をもっていただきたいと思ひます。	H 48
福島環境 カウンセラー協会	〒962-0726 福島県須賀川市市野間釜山20 小林環境事務所内 TEL.0248-89-1331 FAX.0248-89-1331	1. 環境省が策定した「エコアクション21」は、広範な中小企業、学校、公共機関など、環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築し、認証・登録制度に基づき運用するものです。現役審査人が、このツールについてご相談をお受け致します。 2. ごみと暮らしを考える「環境学習コーナー」で、身近に誰でもが「ごみ減量とリサイクル」できるゴミ問題クイズ、リサイクルビンゴゲーム、紙芝居等の実演、手作りリサイクル品の展示をしております。 “遊び心でゴミ問題”を考えてみませんか。	H 3
福島県農地・水・ 環境保全 向上対策地域協議会	〒960-8502 福島県福島市南中央三丁目36番地 TEL.024-535-0335 FAX.024-535-0363 http://www.f-nmk.jp/index.html	農地・水・環境保全向上対策とは、農地だけでなく、地域ぐるみで農地や水路・ため池などの資源と農村環境を守るために行う共同活動や環境に優しい営農活動を行う組織を支援するもので、現在県内で650組織が活動を行っています。地域協議会は、福島県、関係市町村、JA中央会、土地連により組織され対策の啓発や指導を行っています。展示内容は、活動状況パネル展や水質保全活動の一環である水質試験の実演を行います。(ご来場の皆さん、是非ご自分で阿武隈川の水を試験してみてください。)	H 34
福島県消費者団体 連絡協議会	〒960-8141 福島県福島市渡利番匠町107 TEL.024-522-7843 FAX.024-522-7843	誰でもできる簡単エコ! 家庭でできる取り組みの紹介と容器的値段クイズ。 「もったいない」で環境と家計にやさしくらしを実践しましょう。	H 39
「もったいない ネットワーク福島」 福島県商工会連合会	〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20 コラッセふくしま9F 福島県商工会連合会 指導部商工会支援グループ TEL.024-525-3411 FAX.024-525-3413 http://www.f.do-fukushima.or.jp/	福島県商工会連合会は4R(Reduce:ごみ減量、Reuse:再利用、Recycle:再利用、Refuse:抑制)に取り組んでおり、毎年4R推進のため啓蒙活動を実施している。平成17年にはさらなる推進のため「もったいない」を世界に発信し、ノーベル平和賞を受賞したフンガリマータイさんを招きシンポジウムを開催した。県内においても「もったいない」を広めようと活動を実施し、平成20年には「もったいないネットワークふくしま」を設立、賛同する企業を募集している。今回は、ごみ減量と抑制を目的に県内60市町村にある98商工会で実施しているマイバック持参運動共通デザインのマイバックを配布する。	H 17



行政	企業名	所在地・担当部署・電話	展示内容	展示会場
	会津若松市	〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3番46号 市民部環境生活課 TEL.0242-39-1111 FAX.0242-39-1420 http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/	会津若松市では、平成18年7月に「地球温暖化対策推進実行計画」を策定し、市自らの地球温暖化防止に向けた取り組みをはじめ、市民・事業者・市が連携し様々な事業を展開しています。さらに、背あぶり山における風力発電施設の建設計画やバイオマスタウン構想策定など、新たな分野での取り組みについて検討を進めているところです。今回の展示では、これまでの会津若松市での取り組みを紹介するとともに、一人ひとりの力は小さくても集まれば大きな力となる「みんなで出来ること」を紹介します。	H 41
	福島県 一般廃棄物課	〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 TEL.024-521-7249 FAX.024-521-7984 http://www.pref.fukushima.jp/kankyoku	福島県内のごみ排出量や処理状況、ごみ減量・リサイクルの必要性などについてわかりやすく展示します。また、今年度からごみの総排出量の約3割を占める事業系一般廃棄物の排出削減を目的として、「ごみ減量化コンクール」を実施していますが、参加した75事業所の皆さんに寄せ書きしていただいたごみ減量化に向けた取組み方針や決意などを紹介いたします。	H 49
	福島県 エネルギー課	〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号 TEL.024-521-7116 FAX.024-521-7912 http://www.pref.fukushima.jp/chiiki-shin	新エネルギー導入促進のための県の取組みや県内の主な新エネルギー導入施設をパネルで紹介いたします。また、最近話題のグリーン電力についても紹介しますので、是非お立ち寄りください。	H 45
	福島県環境共生課・ 福島県環境センター	〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号 地球温暖化対策担当 TEL.024-521-7813 FAX.024-521-7928 http://www.pref.fukushima.jp/hozen/	地球温暖化を防止するための県の施策や家庭でできる温暖化対策についてパネルやパンフレットで紹介いたします。また、二酸化炭素が地球の気温を上昇させる原因となっているかどうかを確かめる実験も予定しています。当日は、地球温暖化に関するクイズなどのゲームを行いますので、ぜひブースへお越しください。参加者には素敵なエコグッズを差し上げます。	H 46.47
	福島県自然保護課	〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号 自然保護課野生生物担当 TEL.024-521-7210 FAX.024-521-7928 shizen@pref.fukushima.jp	県では、愛鳥思想の普及啓発を目的として、毎年度愛鳥週間ポスターコンクールを実施しております。平成20年度のポスターコンクールには、小・中学校162校、2,551作品の応募がありました。当日は、小・中学校ごとにコンクールで上位入賞した5点(福島県知事賞2点、福島県教育委員会教育長賞3点)を掲示しております。愛鳥精神が生き生きと描かれた作品を、是非御覧ください。	H 43
	福島県森林計画課	〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号 TEL.024-521-7425 FAX.024-521-7543 http://www.pref.fukushima.jp/forest_c/shinrinkankyousei/index_kankyozei.html	福島県は、県民の皆様から納めていただいた森林環境税で森林を守り育てています。森林が育んだ県内のおいしい水を飲んで「森のめぐみ」を体感してください。飲み比べれば、いろんな味を楽しめます。是非おこしく下さい。お待ちしております。	H 44
	福島県 水・大気環境課	〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 TEL.024-521-7261 FAX.024-521-7927 http://www.pref.fukushima.jp/kankyoku	水・大気環境課は、みなさんの健康と生活環境を守るため、水、大気、化学物質、騒音など日常生活に密接する環境問題に取り組んでおります。私たちのブースでは、大気環境や温暖化に関するパネルの展示のほか、「二酸化炭素をはかってみよう」コーナーを設けておりますのでぜひご来場ください。また、温暖化ポスター&マイバックデザインコンクールの「きれいなあおぞら賞」入賞作品を車体デザインとした「大気移動測定車」も展示しております。	H 40
	福島県地方気象台	〒960-8018 福島県福島市松木町1番9号 防災業務課 TEL.024-534-0321 FAX.024-534-0383 http://www.sendai-jma.go.jp/tidai/fukushima/	福島地方気象台では、警報や注意報などの防災気象情報や天気予報を発表し気象観測を行っています。温暖化の基礎資料となる気象観測は明治22年(1889)から始めており、ほぼ120年間のデータの蓄積があります。今回は、1985年から2006年までの大気中に含まれる二酸化炭素の増加する様子を、パソコン上でシミュレートする「赤くなる地球」や、パネルによる福島県及び東北地方の気象観測からの温暖化の状況を展示し紹介します。	H 42
	株式会社トーカン	〒963-0111 福島県郡山市安積町荒井字細子35-1 TEL.024-945-3711 FAX.024-945-7183 http://www.tokans21.co.jp/	汚泥脱水乾燥車 ○有機汚泥の脱水・乾燥をシステム化、車載化により移動可能○リース契約により、経費節減○汚泥の脱水・乾燥により減量化(1/50~1/60)、処理コストの大幅削減○乾燥汚泥は農地への還元、コンポスト等に有効利用 木質バイオマスボイラー ○バイオマス燃料はカーボンニュートラル、CO ₂ の排出量はゼロ○間伐材・解体材等の利用、燃料コストの大幅削減○環境関連法の規制にすべて適合、(財)日本ボイラー協会認定製品○操作は自動化により簡単、ボイラー技師不要	1 1
	遠野興産株式会社	〒972-0163 福島県いわき市遠野町根岸字石田44-3 TEL.024-674-1288 FAX.024-689-2167 http://www.toono.co.jp/	環境にやさしいペレットストーブを実際に燃やしておりますので、木の温もりを感じてください。ペレット燃料が出来るまでの工程を写真入りして展示し、サンプルも陳列展示しております。ペレットストーブ及びペレット燃料の紹介をテレビ画面にて放映しております。	1 2
	日本たばこ産業 株式会社 宇都宮支店	〒969-3123 栃木県宇都宮市宿郷1-8-25 業務部 TEL.028-651-3811 FAX.028-632-0364 http://www.jti.co.jp/JTI/contribution/Welcome.html	JTの環境への取り組みについて・JTの社会貢献活動について・ひろえび街が好きなになる運動*「拾う」という体験を通して、「捨てない気持ち」を育てたい」という願いを込めて全国各地の祭事で、来場者の方々と行っている清掃活動です。全国において約80万人、福島県でも約2万人の方々に参加して頂いております。通常、特設ブースにて清掃ツールを提供し、会場内に落ちているゴミや吸殻を、お渡したJTオリジナルゴミ袋に回収し、JTの特設テントへお持ち頂きます。お持ち下さった方々へはJTオリジナルエコバックを進呈致します。	1 3

4R運動推進セミナー

片山右京氏 講演会

「ストップ地球温暖化!片山右京が語るクルマ、自然、環境」

主催:福島県商工会連合会

日時●12月20日(土)
12:20~13:30

会場●コンベンションホールA

元テレビ朝日アナウンサーの辻よしなり氏の進行により、元F1ドライバーで登山家の片山右京氏による講演会を開催しました。



世界で目の当たりにした温暖化の危機と自らが取り組んでいる対策についてお話しをいただきました。



さかなクンライブトーク

おしえてさかなクン!地球のこと、海のこと

日時●12月21日(日)
11:15~12:15

会場●コンベンションホールA・B

いま、テレビで活躍中のさかなクンによるライブトークを開催しました。魚の生態や海の生き物を通じた地球環境の大切さをイラストによる参加型クイズを交え、こどもから大人まで楽しく、分かりやすいお話しをいただきました。



地球にやさしい“ふくしま” 高校生CMコンテスト 審査会・表彰式

日時●12月20日(土)
10:30~13:30

会場●コンベンションホールB

県内の高校生による「STOP温暖化」をテーマとしたテレビCMのコンテストを、特別審査員に本県出身のクリエイティブディレクターの箭内道彦氏を迎え開催しました。



環境・エネルギー ビジネスセミナー

日時●12月20日(土)
13:00~14:00

会場●中会議室A

株式会社日本政策投資銀行調査部課長の清水誠氏を講師に迎え、「太陽光発電産業で台頭する海外新興企業の事業戦略~日系企業の課題と対応策~」をテーマに開催しました。



地球温暖化シンポジウム

「地球温暖化の現状とこれから、そして私たちにできること。」

日時●12月20日(土)
14:00~16:00

会場●コンベンションホールA

福島大学教授で地球にやさしい“ふくしま”県民会議代表の渡邊明氏をコーディネーターに迎え、地球温暖化問題の研究、活動に取り組む有識者3名によるパネルディスカッションを開催しました。



新エネルギーシンポジウム

「活かそう!地域の未利用エネルギー」

日時●12月21日(日)
13:00~16:00

会場●コンベンションホールA

新エネルギーの先進地として知られる岩手県葛巻町の取組についての基調講演と、市民参加や新しいビジネスモデル、エネルギー教育などの専門分野で活躍されている県内外の有識者によるパネルディスカッションの二部構成で開催しました。



映画上映会 「不都合な真実」

日時●12月20日(土)
15:00~16:40

会場●コンベンションホールB

ノーベル平和賞受賞者であるアル・ゴア氏が、地球のためにできる最初の一步として、いま世界中で起こっている地球温暖化の真実を知る事を目的に制作されたドキュメンタリー映画「不都合な真実」を上映しました。

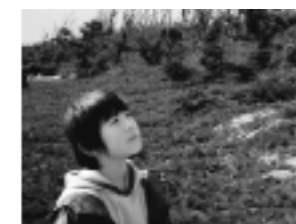


映画上映会 「KIZUKI」

日時●12月21日(日)
13:00~15:00

会場●コンベンションホールB

これまで我々が地球にしてきたこと、今の地球がどのような状況なのか、これから何をすべきなのかをテーマとした、映画「KIZUKI」を上映しました。上映前には、瀬木直貴監督から映画の説明をいただきました。



高校生インターナショナル・トークセッション

日時●12月20日(土)
13:30~14:45

会場●コンベンションホールB

日本人高校生と外国人高校生による各国の地球温暖化防止に向けた事例紹介と、高校生の目線から見た地球温暖化防止の重要性と必要とされる取組について、国境を越えた討論が繰り広げられました。



第33回 福島県児童・生徒木工工作コンクール表彰式

日時●12月21日(日)
10:00~10:30

会場●コンベンションホールA

県内の小中学生を対象とした福島県木材青壮年協会主催の木工工作コンクール表彰式を開催しました。大人とは違った視点で木の持つ自然の息吹を感じ、それを表現した素晴らしい作品の数々が紹介されました。



“うつくしま、ふくしま。”環境顕彰表彰式・「第11回全国環境学習フェア」テーマ・ポスター表彰式

日時●12月21日(日)
10:00~10:45

会場●コンベンションホールB

県内の環境保全に関し、顕著な功績のあった個人又は団体等を顕彰する表彰式と10月に開催した「第11回全国環境学習フェア」の大会テーマ受賞者、大会ポスター制作者の表彰式を開催しました。



地球にやさしい“ふくしま”県民会議交流会

日時●12月21日(日)
10:00~12:15

会場●中会議室B

「自然保護」をテーマにした各種発表と「水環境保全」をテーマとした発表の二部構成で開催しました。また交流会の中では、「ふるさとの川・荒川づくり協議会」から飲料水(荒川源流水)をご提供いただきました。



新エネルギー教室

日時●12月20日(土)
11:00~13:00
14:00~16:00

●12月21日(日)
10:30~12:30
14:00~16:00

会場●多目的展示ホール

若手漫才コンビ「ダムダムダン」を講師に迎え、小学校4年生から6年生の子供たちを対象に、2日間で4回、新エネルギー教室を開催しました。新エネルギー勉強会、ビデオで学ぶ新エネシアター、自分が作った風車の羽を使って発電し、その電気でミニカーの競争を行うワークショップの三部構成で、“楽しく”、“分かりやすい”内容でした。



CEV(クリーンエネルギー自動車)展示・試乗会

日時●12月20日(土)・21日(日)終日

会場●多目的展示ホール東側

電気自動車など、環境にやさしいクリーンエネルギー自動車5台を展示し、会場内特設コースを設け、試乗会を実施しました。



スタンプラリーに参加してオリジナルエコバックをつくろう

日時●12月20日(土)・21日(日)終日

会場●多目的展示ホール

多目的展示ホール内において、小学生以下を対象にしたスタンプラリーを実施し、参加者にはオリジナルエコバックを作ってもらいました。



アース・マップ展示

日時●12月20日(土)・21日(日)終日

会場●多目的展示ホール

北海道洞爺湖サミットなどのシンボル展示物として製作されたアース・マップを展示し、世界中に広がる日本の環境技術などを紹介しました。



飲食コーナー(地産地消・フードマイレージ体験コーナー)

日時●12月20日(土)・21日(日)終日

会場●屋外展示場

飲食コーナーを屋外展示場に設置し、福島県産の食材を使用した料理の提供を通じ、地産地消・フードマイレージを体験してもらいました。



アクアマリンふくしま 移動水族館「アクアラバン」

日時●12月20日(土)・21日(日)終日

会場●多目的展示ホール

アクアマリンふくしまの移動水族館「アクアラバン」や実際に海の生き物に触れることができるタッチプールを設置し、自然の大切さを学んでもらいました。



20 土

10:10~	「もったいない50の実践」絵画コンクール表彰式
11:00~	ナスカ エコナビスペシャルライブ 「私が生まれたその朝は」
12:00~	鍋からストップ温暖化～発表!ふくしまうちエコ鍋～
13:00~	ゴミレンジャーショー
14:00~	たえこママの「地球にやさしいエコナビクッキング」
15:00~	ナスカ エコナビスペシャルライブ 「私が生まれたその朝は」
16:00~	素敵にリメイク・リサイクルファッションショー

21 日

10:10~	大野 裕明×松本 林トーク& アコースティックライブ「星と宇宙と地球の今」
11:00~	新感覚!風呂敷トークショー
12:00~	たえこママの「地球にやさしいエコナビクッキング」
13:00~	郡山の環境守り隊“チーム環太郎” 参上
14:10~	大野 裕明×松本 林トーク& アコースティックライブ「星と宇宙と地球の今」
15:00~	エコナビ宣言×クリスマスキャンドルフィナーレ



20日 10:10~
「もったいない50の実践」絵画コンクール表彰式



20日 13:00~
ゴミレンジャーショー



20日 14:00~
たえこママの「地球にやさしいエコナビクッキング」



20日 16:00~
素敵にリメイク・リサイクルファッションショー



21日 10:10~/14:00~
大野 裕明×松本 林トーク&アコースティックライブ「星と宇宙と地球の今」



20日 11:00~/15:00~
ナスカ エコナビスペシャルライブ「私が生まれたその朝は」



20日 12:00~
鍋からストップ温暖化～発表!ふくしまうちエコ鍋～



21日 11:00~
新感覚!風呂敷トークショー



21日 12:00~
たえこママの「地球にやさしいエコナビクッキング」

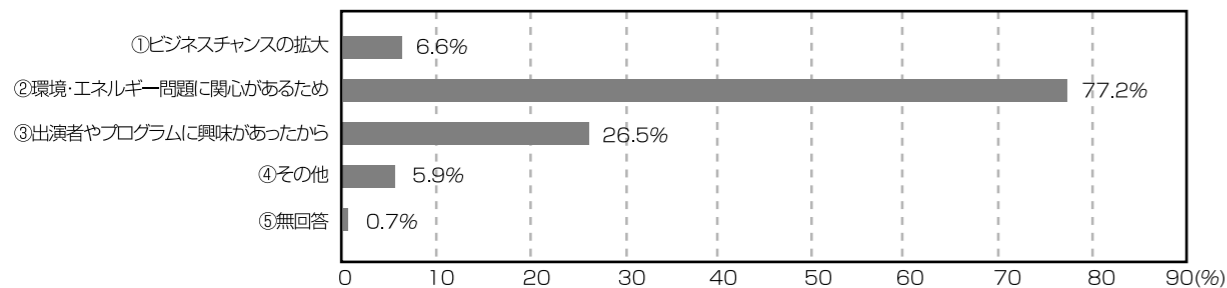


21日 13:00~
郡山の環境守り隊“チーム環太郎” 参上

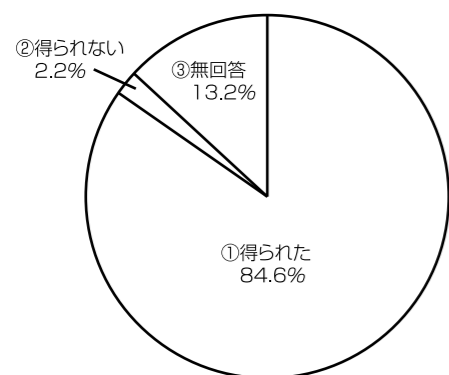


21日 15:00~
エコナビ宣言×クリスマスキャンドルフィナーレ

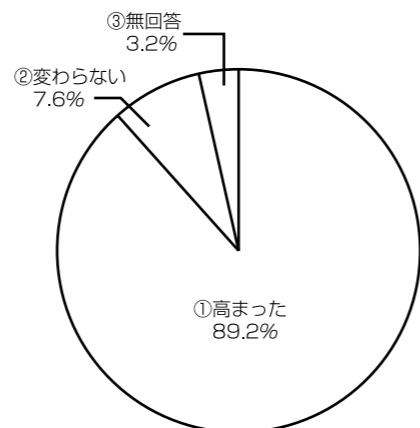
1. 来場いただいた目的は何ですか？(複数回答)



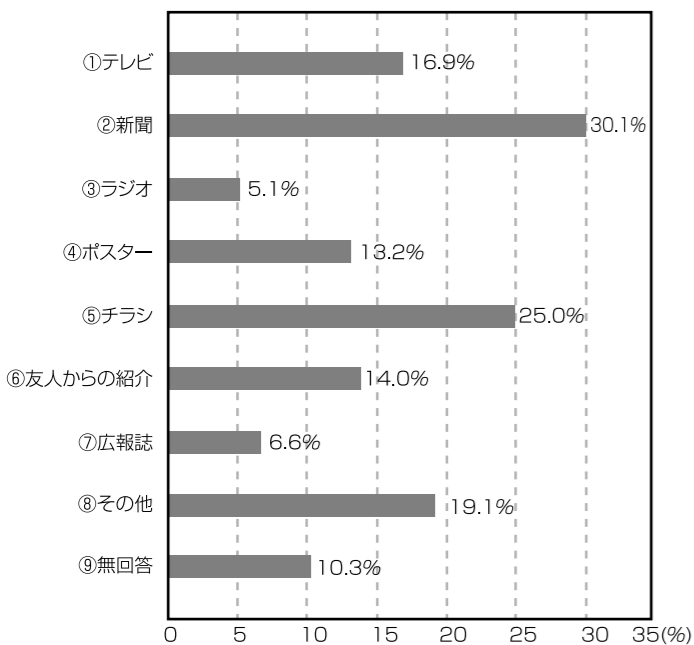
2. 会場内で、お客さまの望んでいた情報を得ることが出来ましたか？



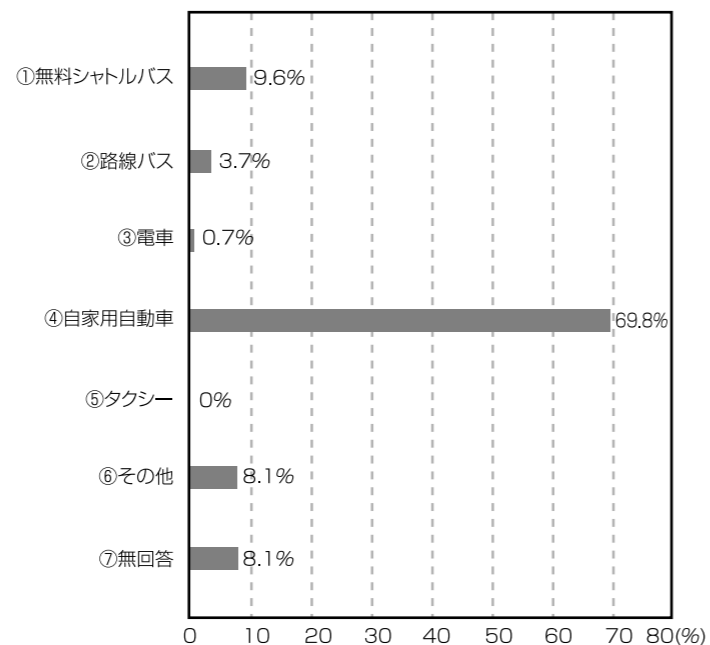
3. 本展示会によってお客様の意識や知識は高まりましたか？



4. 本フェアの開催は何でお知りになりましたか？(複数回答)

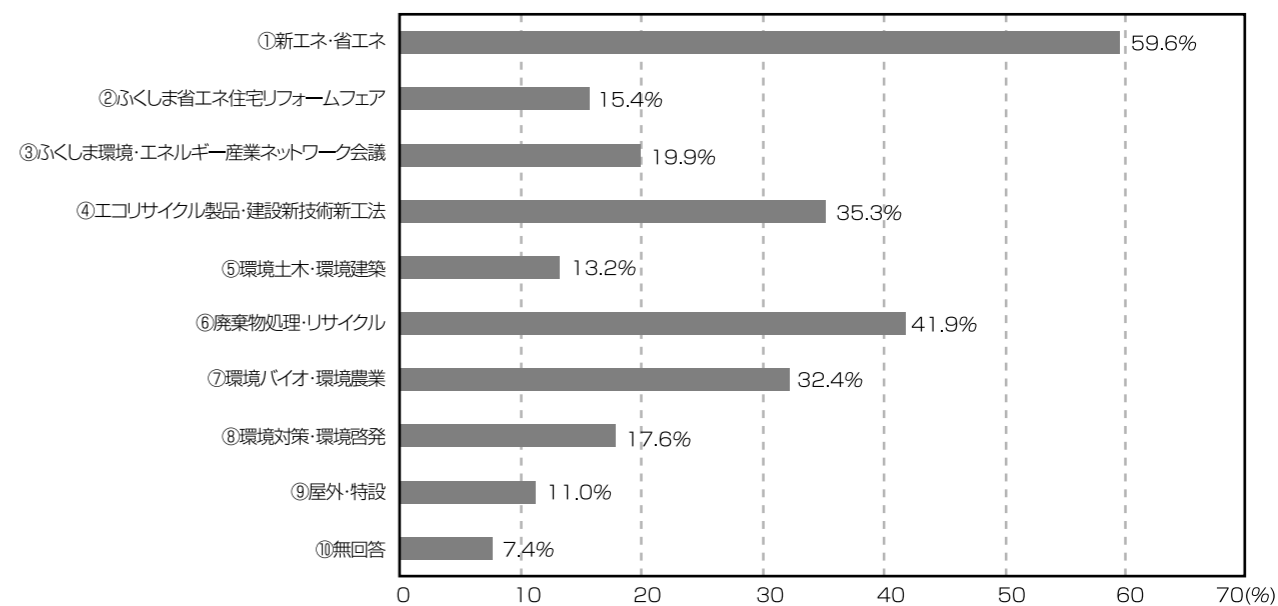


5. ご来場の手段は何ですか？

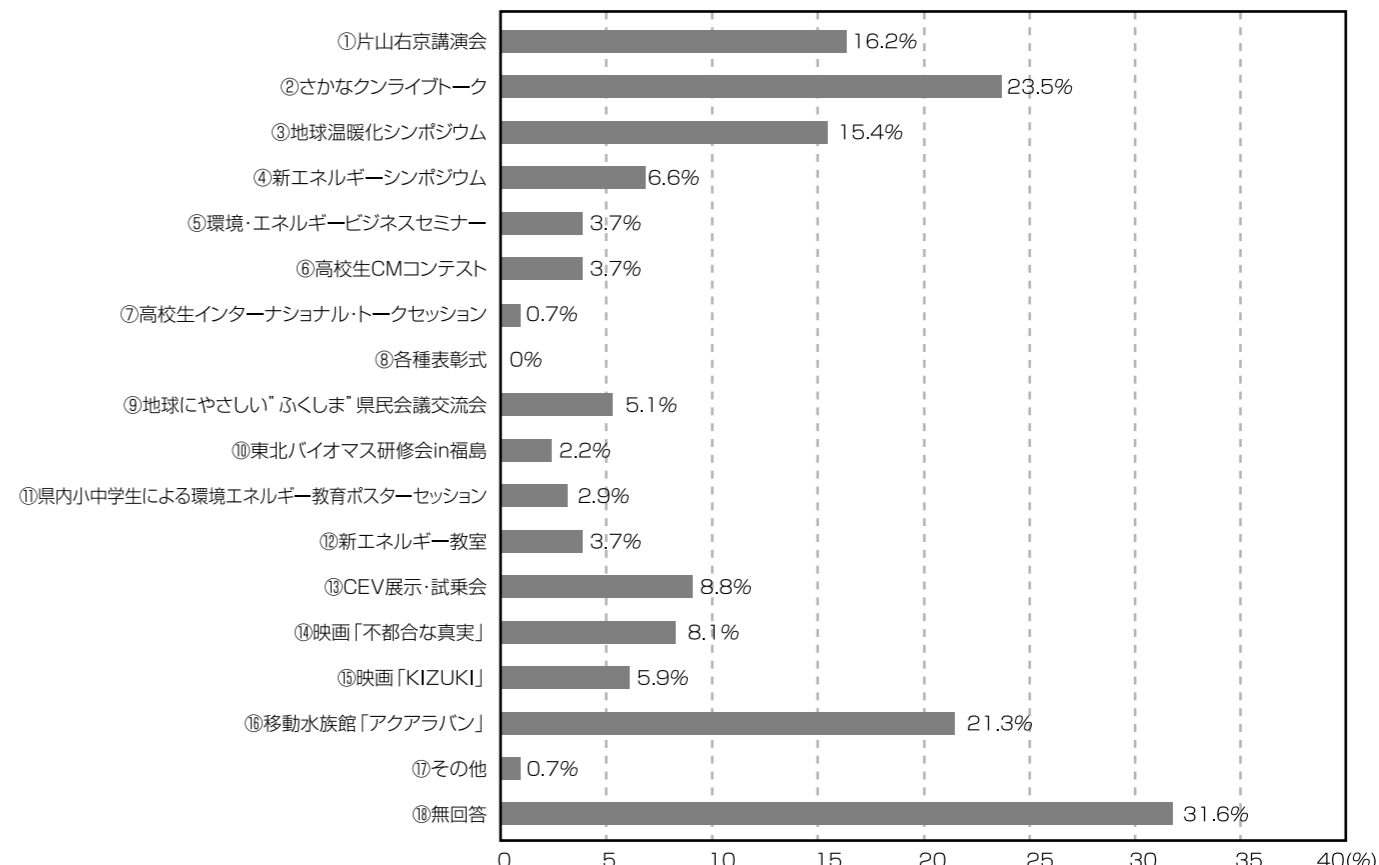


6. 会場内をご覧になって、興味を持ったコーナーやカテゴリをお答えください。(複数回答)

《環境・エネルギー関連企業・団体の展示ゾーン》

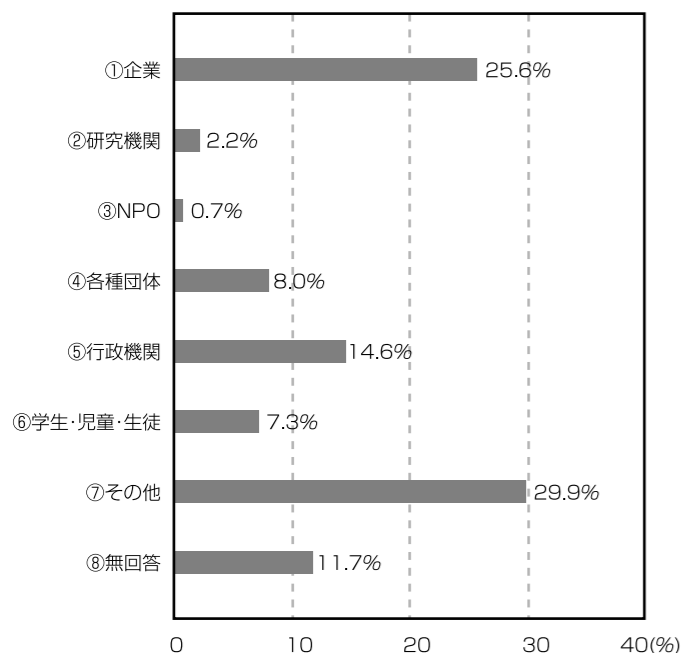


《シンポジウム、セミナー等のイベント》

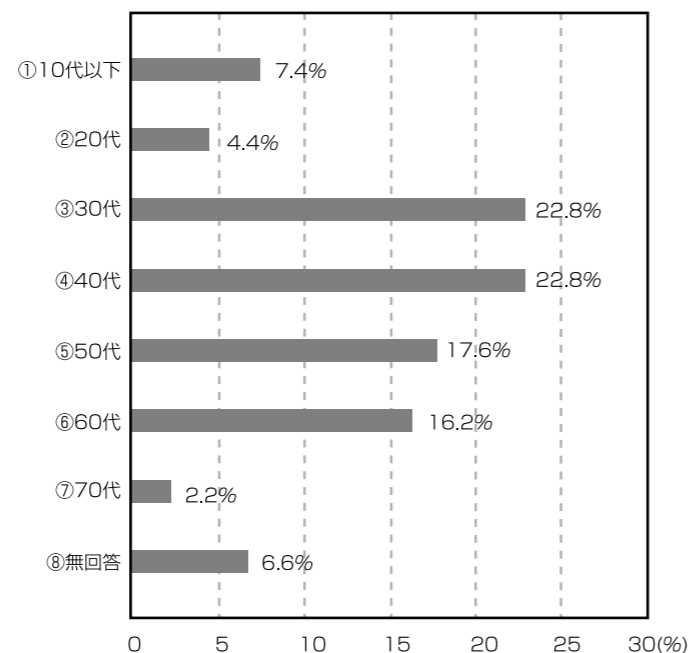


来場者プロフィール統計

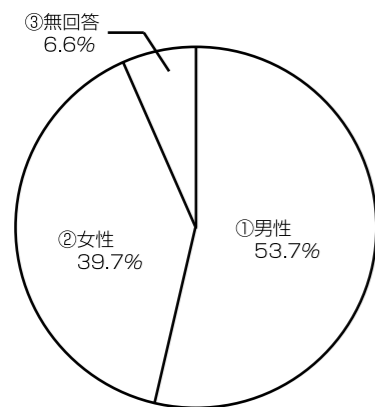
7. お客様自身のご職業は何ですか？



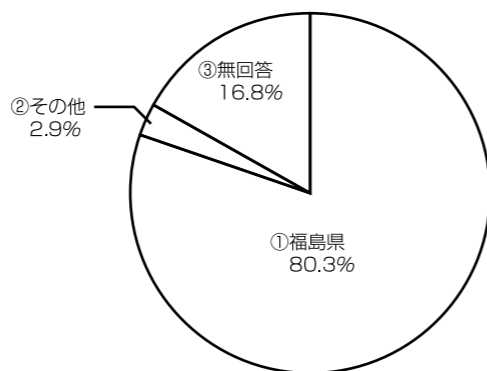
8. お客様の年齢は？



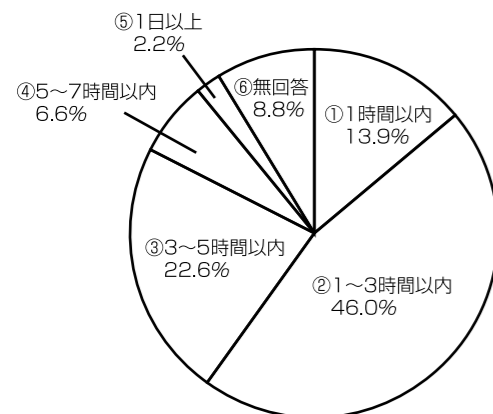
9. 性別をお聞かせください



10. お住まいをお聞かせください



11. 本フェアでの滞在時間は？



12. 特に興味を持った企業、製品、イベントなどがあればご記入ください。

- ・ CEV試乗 (40代女性:福島県)
- ・ さかなクンライブトーク (10代以下女性:福島県)
- ・ ペレットストーブ、自動車 (30代女性:福島県)
- ・ ヤンマー、空き缶をお金にする機械 (10代以下男性:福島県)
- ・ 日本大学燃料電池、気象庁、環境センターの温暖化問題 (30代男性:福島県)
- ・ エコバッグ制作、キャンドル、新エネ教室、エコリサイクル (20代女性:福島県)
- ・ エコリサイクル製品、新エネ教室、エコバッグ・スタンプラリー (10代以下女性:福島県)
- ・ IHクッキングヒーター、エコキュート、パソコンの解体 (40代女性:福島県)
- ・ 東北ガラス (40代女性:福島県)
- ・ アクアマリン (30代女性:福島県)
- ・ いわき大王製紙 (20代男性:千葉県)
- ・ バイオ技研→光熱フィルター (60代女性:福島県)
- ・ 新エネルギー (60代男性:福島県)
- ・ 4R推進セミナー (40代男性:福島県)
- ・ KIZUKI (50代男性:福島県)
- ・ 燃料電池をもう少し詳しく知りたかった。 (40代男性:福島県)
- ・ 古河電池、EV試乗 (60代男性:埼玉県)
- ・ ペレットストーブ、LED (40代男性:福島県)
- ・ バッテリーメーカーのブース (50代男性:福島県)
- ・ 笠原工業、東北ガラス (60代男性:福島県)
- ・ パナソニック、ガス (60代女性:福島県)
- ・ 片山右京講演会 (30代男性:福島県)
- ・ ペレットストーブ (40代女性:福島県)
- ・ 東北ガラス、桐の応援団、双葉物産 (50代女性:福島県)
- ・ バイオディーゼル燃料 (40代男性:福島県)
- ・ CEV試乗 (50代男性:福島県)
- ・ 釜屋 紙のボールペン (50代女性:福島県)
- ・ 片山右京講演会 (40代女性:福島県)
- ・ CEV試乗、ガラスを砕いた再利用 (50代男性:福島県)
- ・ クリーンコールパワー (50代男性:福島県)
- ・ チーム環太郎 (30代男性:福島県)
- ・ KIZUKI (30代女性:福島県)
- ・ 東京電力、アクアマリン (30代女性:仙台)
- ・ さかなクントークショー (20代男性:福島県)
- ・ 電力会社 (30代男性:福島県)
- ・ 陽だまりハウス、興和 (30代男性:福島県)
- ・ 食品などのリサイクル→コラボ・ウエスト (60代男性:福島県)

13. その他、ご意見・ご要望などがございましたらご記入ください。

- ・ 楽しく参加できた (60代男性:埼玉県)
- ・ 毎年実施し、啓発すべき (40代男性:福島県)
- ・ 大小の企業 (特に小さいところでも) が出展して参考になった。
- ・ 福島県を地球環境を積極的に守る県にして、豊かな美しい自然を次世代へ繋げてほしい。
- ・ 対象がはっきりしてなく、中途半端な展示になっているように思えた。原子力発電老朽化問題、火力発電の採用が増加することによるCO₂排出量が増えていることを知らせてほしい。 (40代男性:福島県)
- ・ たくさんのパンフをもらうたびに、ビニール袋に入っていたのはエコに反するようになってきた。 (40代女性:福島県)
- ・ 会社などの事業の取り組み方がPRありで重要だったと思う。年2回くらいの開催がよいのでは?大変興味あり。 (60代男性:福島県)
- ・ 片山右京講演会、バイオ燃料には興味があった。 (60代女性:福島県)
- ・ 子ども楽しめたのでゆっくり見ることができた。 (40代女性:福島県)
- ・ ほとんどのブースで熱心な説明を受けた。 (50代男性:福島県)
- ・ これからも実施してほしい (30代女性:福島県)
- ・ プログラムの内容を事前に知りたかった。講演の時間が分からず聞けなかった。
- ・ 郡山駅のシャトルバス乗り場が分かりにくかった。年齢制限になっているイベントにも興味があった。
- ・ おもしろかったです (10代以下男性:福島県)
- ・ とても参考になりました。 (10代以下男性:福島県)
- ・ 屋外の展示休憩所が寒かったので、できれば屋内にほしい。 (30代男性:福島県)
- ・ ぜひ来年以降も継続開催してほしい (20代男性:千葉県)
- ・ 大変勉強になった。これから、少しずつでも環境を考え、エコ生活したいと思う。 (30代女性:仙台)
- ・ また開催してほしい。 (30代男性:福島県)
- ・ もっとPRした方がよい (60代男性:福島県)
- ・ 講演会の参加人数が少ないと思った。 (30代女性:福島県)
- ・ もっと他種類があってもよいと思った。似たようなものが少々多く感じた。 (30代男性:福島県)
- ・ 来年も開催してほしい。 (70代男性:福島県)
- ・ 参加型の企画・展示が多く、興味を持って楽しめた。 (30代女性:福島県)
- ・ 魚の帽子やバスを作って楽しかったです。 (10代以下女性:福島県)

アンケート配付数 132

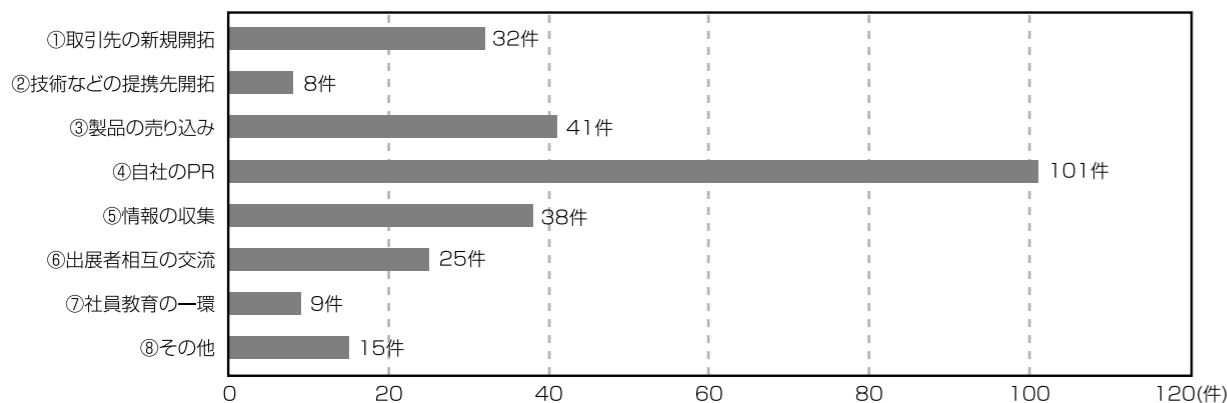
アンケート回収数 116

回収率 87.9%

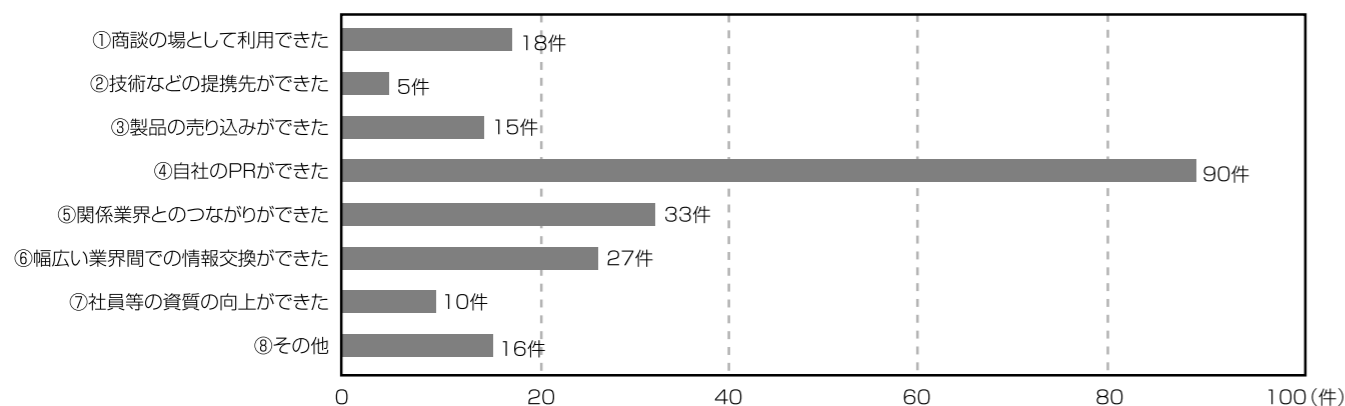
※福島県庁の本庁機関は配付対象外

出展について

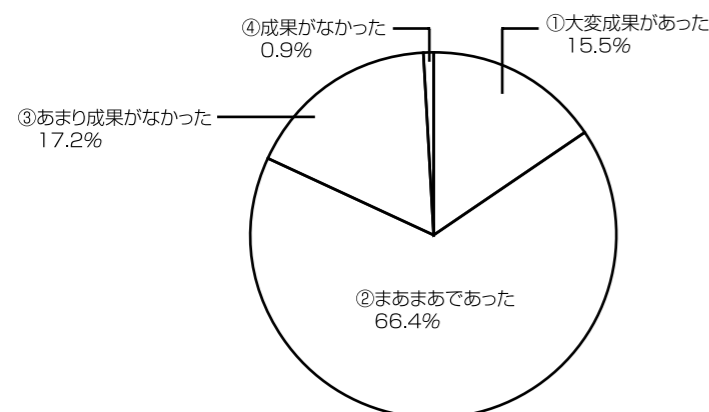
1. 今回出展された目的は?(複数回答有)



2. 出展しての成果をお聞かせください(複数回答有)

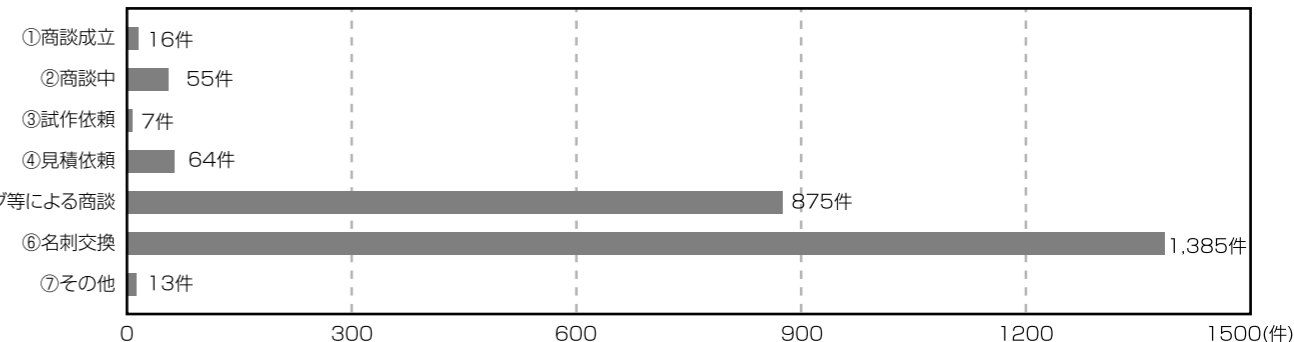


3. 成果の達成度はどの程度と感じていますか?



4. 当フェアでの商談実績等について

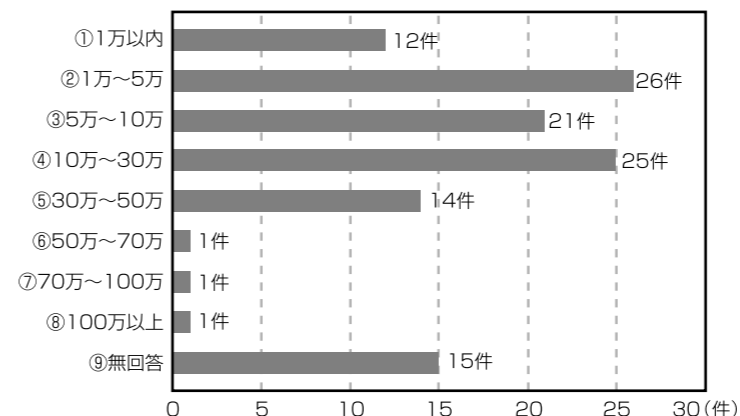
●企業(アンケート回収数82(うち無回答16))



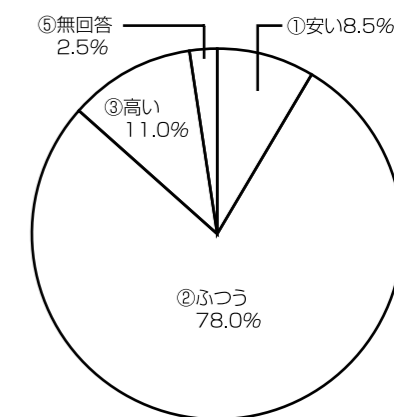
●団体(アンケート回収数34(うち無回答7))



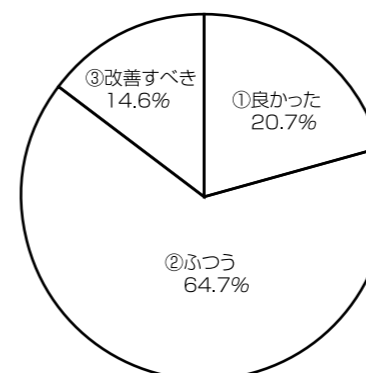
5-1. 出展に要した経費の概算は?



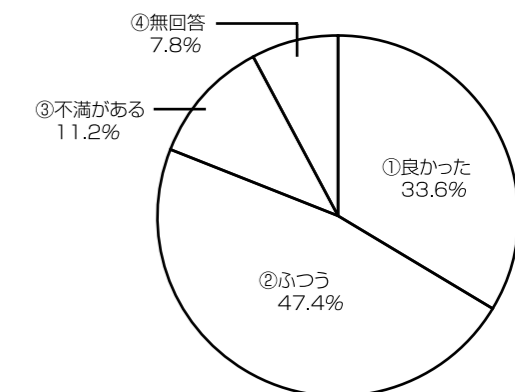
5-2. 出展料の金額についての印象は?
(有料出展者のみ)



6. 会場内の全体的なレイアウトはどのように感じましたか?

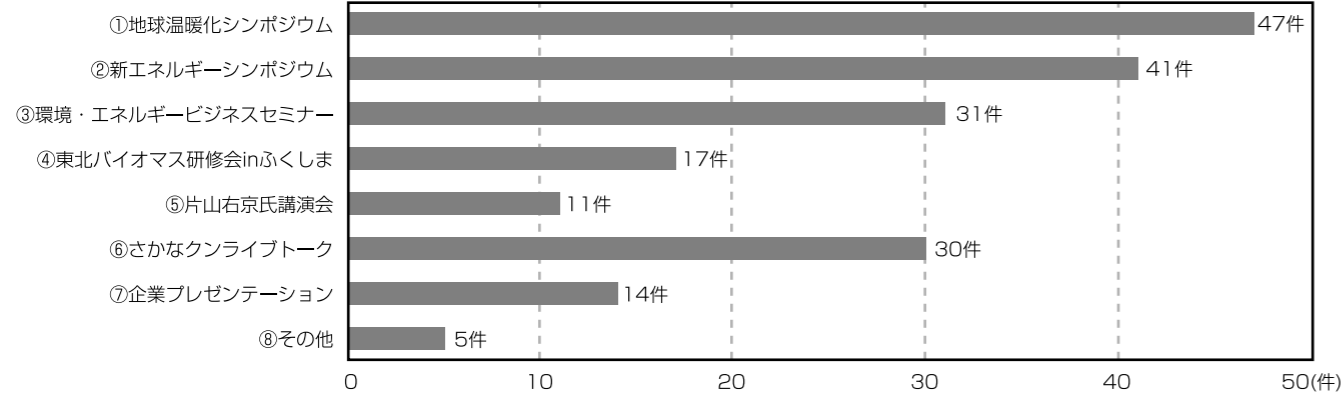


7. 貴社・団体の小間の配置場所についてはどのように感じましたか?



同時開催事業について

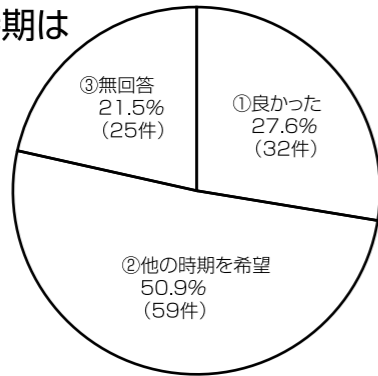
8. 同時開催事業で参加されたもの・興味があったものを、お聞かせください(複数回答有)



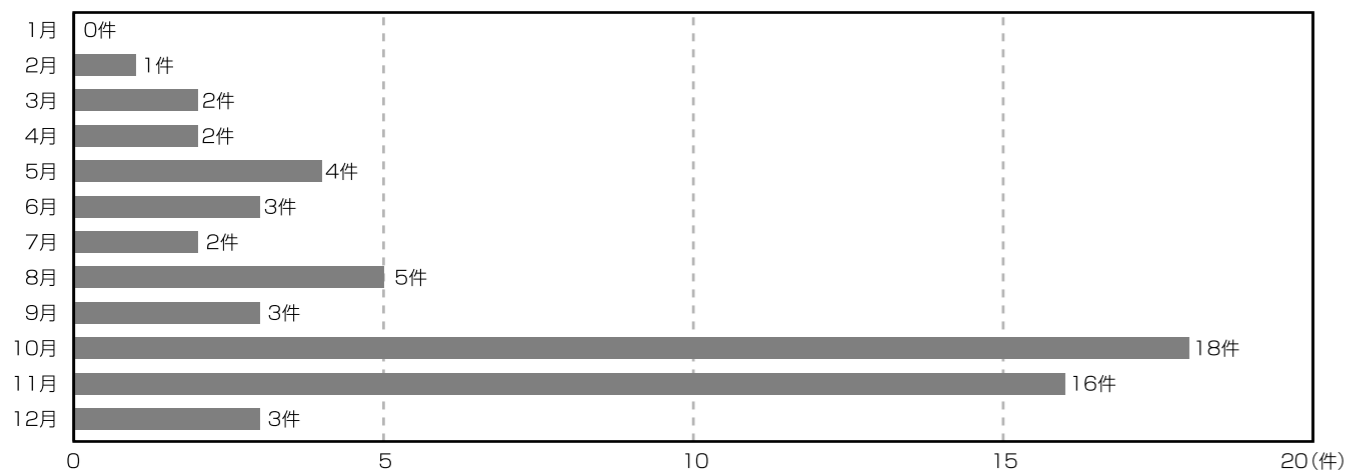
9. 次回はどのような同時開催事業を希望しますか? (回答があったもの)

- ・ 今回の同時開催事業は内容的に良かった。
- ・ 衣食住の環境・省エネルギーという観点から住環境の省エネや住宅設備関係をテーマとしてセミナーの開催を希望する。
- ・ 多数の県民の方が参加したくなるようなイベント。特に親子たちのファミリーで参加しやすいイベントを同時開催してほしい。
- ・ 環境について改めて考えさせる映画の上映は非常に効果的だった。
- ・ 大手メーカーなども出展する形を希望。科学博覧会のようなイメージのイベント形式が良い。
- ・ 客寄せのライブトークや講演会を、メイン会場で開催してほしい。
- ・ 福島県内・地方自治体やコンサル等の、新技術説明会、展示会を希望。
- ・ もっと飲食店を増やし、来場者数の増員を計ってもよいと感じる。
- ・ 客寄せのためのライブトーク。
- ・ ミュージックライブの充実、著名人のライブトーク、地球温暖化に関する研究者の講演。
- ・ エコドライブ講習会。
- ・ 環境教育
- ・ 農業団体や、JA等のイベント

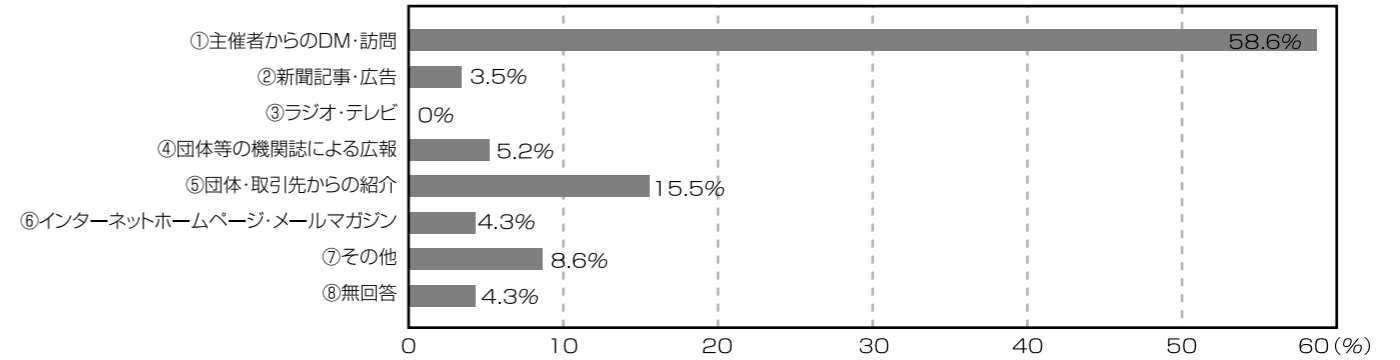
10-1. 当フェアの開催時期はいかがでしたか?



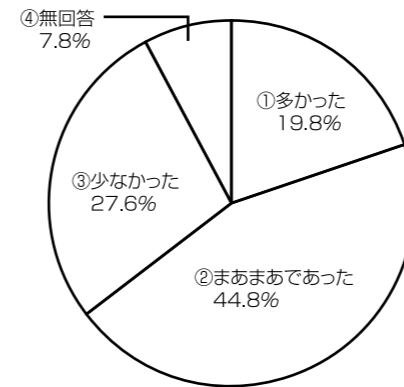
10-2. 開催時期変更の希望割合(10-1回答②の内訳)



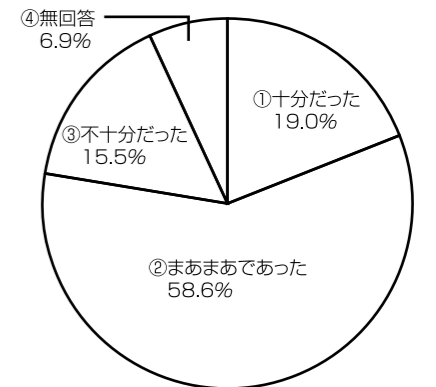
11. 今回、出展募集を何でお知りになりましたか?



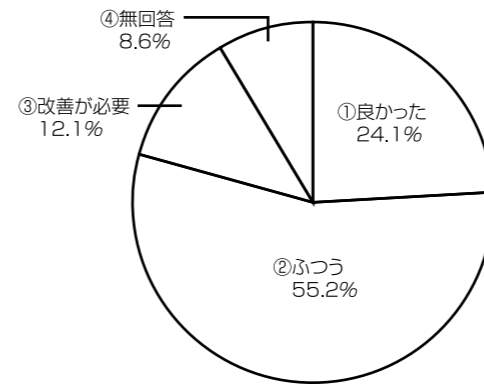
12. 当フェアの来場者数の印象は?



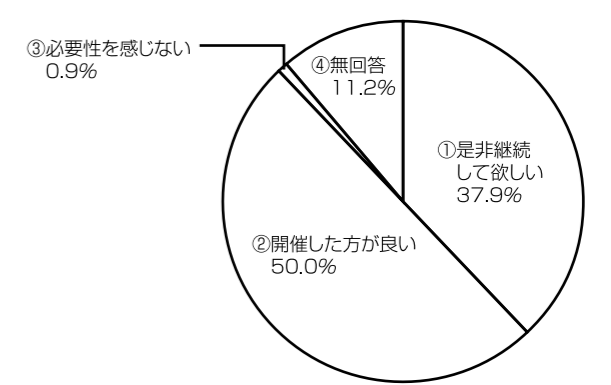
13. 主催者による広報宣伝の印象は?



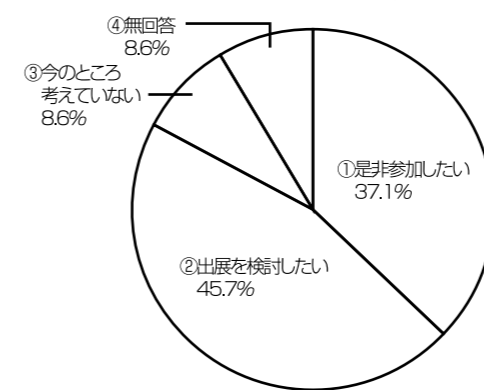
14. 会場全体の装飾、案内表示などの印象は?



15. 当フェアの今後の開催についてお聞かせください。



16. 次回、当フェアを開催した場合のご出展の意向は?





A3チラシ



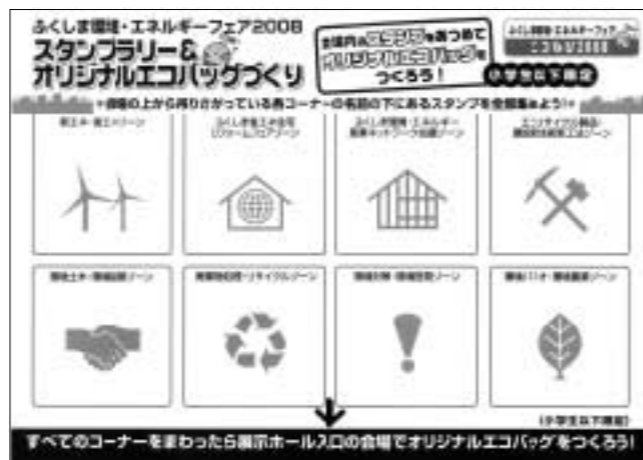
当日パンフレット



B2ポスター



ガイドブック



スタンプラリー



出展者証



入場者証-1



入場者証-2



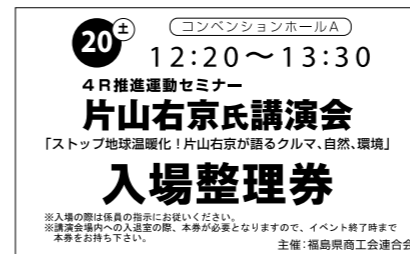
スタッフ証



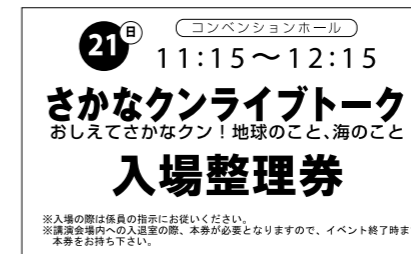
入場者証-3



入場者証-4



入場整理券(片山右京講演会)



入場整理券(さかなクンライブトーク)



新エネルギー教室参加証

ふくしま環境・エネルギーフェア2008への来場を促進するため、以下の来場促進・広報宣伝活動を行いました。

■ チラシ・ポスターの配布

【配付部数】

チラシ(A3二つ折)	50,000枚	ポスター(B2)	4,000枚
------------	---------	----------	--------

【配付先】

地球にやさしい“ふくしま”県民会議構成員、フェア出展者、市町村、小・中・高校、大学、公民館・図書館、「福島議定書」参加事業者、ISO14001取得企業、NPO法人、その他県庁各課の関係団体、講演会等の場等。

■ 「ふくしま環境・エネルギーフェア2008」公式ガイドブック・パンフレットの作成

ガイドブック	10,000部	パンフレット	20,000部
--------	---------	--------	---------

■ 媒体告知(テレビ・ラジオ)

媒体名	放映日	回数
フェア独自製作のCM(県内民放4局)	平成20年12月11日~20日	60回
うつくしま情報局(福島テレビ)【福島県広報】	平成20年12月14日	1回
テレビでの30秒スポット放送(福島放送・テレビユー福島)【福島県広報】	平成20年12月1日~20日	KFB8本 TUF8本
「ふくしま EVENING BREAK」(ふくしまFM)【福島県広報】	平成20年12月15日	1回
ラジオでの30秒スポット放送(ラジオ福島・ふくしまFM)【福島県広報】	平成20年12月1日~20日	ラジオ福島12本 ふくしまFM3本

■ 媒体告知(新聞)

媒体名	掲載日
福島民報【福島県広報】	平成20年7月7日
福島民報、福島民友【福島県広報】	平成20年11月23日
朝日新聞福島県版	平成20年11月30日
福島民報【企画特集】	平成20年12月19日
福島民友【広告のページ】	平成20年12月20日



福島民報【福島県広報】
7月7日



福島民報【企画特集】
12月19日



福島民友【広告のページ】
12月20日



■ 各種広報誌・新聞等 (有料・無料)

媒体名	発行者
「うつくしま ゆめだより No.219号(12月)」	福島県広報誌
「ふくしま自治 2008 No.3(671)平成20年10月28日発行」	財団法人ふくしま自治研修センター
「Convention City こおりやま vol.55 2008Jul.」	財団法人コンベンションビューロー
「リビング福島 2008年12月1日 1163号」	リビング福島新聞社
「月刊シティ情報ふくしま 12月号」	株式会社エス・シー・シー
「MONMO 冬号」	株式会社エス・シー・シー
「ビックパレットふくしまイベントカレンダー Vol.122」	ビックパレットふくしま
「ビックパレットふくしまイベントカレンダー Vol.123」	ビックパレットふくしま
「月刊E&C(イベント&コンベンション)平成20年1月号」	日本実務出版
「ふくしま子ども新聞 2009年1月号」	ふくしま子ども新聞編集室
「広報おのまち 平成20年11月 No.549」	小野町広報誌
「NEW ボイス朝日 No.350 2008年(平成20年)12月19日号」	福島県ASA協同組合



「月刊
シティ情報ふくしま
12月号」



「うつくしまゆめだより
No.219号(12月)」

■ パブリシティ(各種情報誌)



「ふくしま子ども新聞
2009年1月号」

「広報おのまち
平成20年11月 No.549」

「月刊E&C(イベント&コンベンション)
平成20年1月号」

■ 街頭キャンペーン

12月13日、郡山市内
(ザ・モール郡山店、
ショッピングモールフェスタ)で
街頭PRキャンペーンを行いました。



「キャンペーンの様子は
12月14日付け福島民報に掲載」

■ ホームページ・メールマガジン

● フェア公式HP



● 「共同通信PRワイヤー」
(株式会社 共同通信ピー・アール・ワイヤー)



● うつくしまドットねっと通信 第135号
(平成20年12月1日号)
財団法人福島県産業振興センター
【メールマガジン】



● 福島県次世代育成メルマガ
ふくしまエンゼルサポート 第065号
(2008年12月1日発行)
福島県子育て支援課【メールマガジン】



ふくしま環境・エネルギーフェア 2008の環境への取組

1. 「うつくしまエコイベント」の認定

“ふくしま環境・エネルギーフェア2008”は、「うつくしまエコイベント」で5つ星の認定を受けました。

イベント開催時には、チラシ等の紙の使用による森林資源の減少、電気やガソリンの使用による温室効果ガスの排出など様々な環境負荷が発生します。本イベントの開催にあたっては、(1)自然環境への配慮(2)ゴミの減量化・リサイクル(3)交通による環境負荷対策(4)省資源・省エネルギー(5)参加者への普及啓発(6)環境配慮を推進する運営体制に取り組み、「うつくしまエコイベント」の認定を受け、イベントを開催しました。



2. グリーン電力によるイベントの運営

“ふくしま環境・エネルギーフェア2008”は、環境対策の一つとして、環境負荷を与えない小規模水力発電から生まれたグリーン電力を利用しました。

自然エネルギーによる電気は、「電気そのものの価値」の他に、化石燃料や二酸化炭素(CO₂)排出量の削減などの価値をもっています。これを「環境付加価値」と呼んでいます。これを「電気」と切り離して「証書」という形で取引することを可能にしたのが、「グリーン電力証書」システムです。電力会社から供給される電気に、自然エネルギー発電による「環境付加価値」を加えることにより、使用する電気をグリーン電力とみなすことができます。

本フェアにおいては、1,026kw/hの電力を使用し、そのうち1,000kw/hを「日本自然エネルギー株式会社」が発行したグリーン電力証書でまかないました。この電力は、水力発電によるもので、平成20年4月から6月の間、東京都下水道局が管理する「森ヶ崎水再生センター小水力発電設備」で発電されたものです。このグリーン電力証書の使用により、本フェアで使用した電気から排出されるCO₂のほとんどをオフセットしました。



グリーン電力証書



森ヶ崎水再生センター

3. カーボンオフセットの取組(イベントで排出されるCO₂の相殺)

カーボンオフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができない温室効果ガスの排出について、できるだけ排出量を抑えるよう削減努力をし、どうしても排出される温室効果ガスについてその排出量を推計し、その排出量に見合った削減活動に投資すること等により、排出されるCO₂(=カーボン)を埋め合わせ(=オフセット)という考え方です。

“ふくしま環境・エネルギーフェア2008”は、イベントの開催により排出されるCO₂をオフセットするため、グリーン電力によるイベントの運営をはじめ、北海道洞爺湖サミットを契機にスタートしたNPO法人コンベンション札幌ネットワーク(北海道札幌市)が行う「サミットの森」事業へ企業出展料の1%を寄付しました。これにより森林環境保全を目指す国際組織、森林管理者協議会(FSC、本部・ドイツ)の認証を受けた認証林(北海道網走郡美幌町字豊富460-1、460-31)へCO₂の吸収量が高いとされるカラマツ160本が植樹され、20年の森林管理により、6tのCO₂がオフセットされることとなっています。



北海道美幌町の認証林